主要な施策の成果報告書

はじめに

令和７年度は、「第５期恵庭市総合計画」の最終年度であり、計画期間の総仕上げとして、総合計画「第４次実施計画」や「第３期恵庭市総合戦略」に基づき各施策を推進するとともに、本市を取り巻く環境の変化に対応しながら、新たな未来を見据えたまちづくりを着実に進めてきました。

一方、依然としてエネルギー・食料品などの物価高騰や人件費の上昇が続いており、本市においても、市民の暮らしや企業活動に大きな影響をもたらしています。

さらには、公共施設の維持管理費の増加など、本市の財政にも影響が及び続けていることから、引き続き「恵庭市財政運営の基本指針」に基づき、持続可能な財政運営を行っていくことが必要です。

このような状況において、令和７年度予算は、本市の豊かな自然や農業、花や読書、活発な市民活動などの「文化」と、新たな環境の変化に対応するまちづくりを結びつけ、未来をひらく恵庭のまちづくりを計画的に進めていくことを目指し、「市民とともにまちの未来を展望する　令和７年度予算」として、重点施策に次の「５本の柱」を掲げて編成しました。

１　すべての市民が健康で安心して暮らせるまちづくり
２　子どもの成長を見守り、安心して子育てできるまちづくり
３　快適で暮らしやすい生活空間を生み出すまちづくり
４　恵庭の資源を生かし、将来につなげるまちづくり
５　地球温暖化やデジタル社会に対応できるまちづくり

この重点施策を中心に、令和７年度に実施した事務事業の主なものについて、「第５期恵庭市総合計画」に掲げた５つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」としてまとめましたので、報告いたします。

目　次

基本目標Ⅰ　市民による市民のためのまち
目標０１　様々な担い手によるまちづくり…… 393
●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進…… 393
●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進…… 393
目標０２　時代のニーズに沿った変革…… 394
●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築…… 394
●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立 …… 396
●公共施設の適正配置による機能面の充実…… 396
●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付…… 397
目標０３　ともに学びともに知る情報…… 398
●市民と行政との情報共有の推進 …… 398
●開かれた行政運営の推進 …… 398

基本目標Ⅱ　誰もが健康で安全安心に暮らせるまち
目標０４　災害に強い地域防災力 …… 400
●防災意識の普及、推進 …… 400
●耐震改修の推進 …… 400
目標０５　支えあう消防救急体制 …… 401
●消防防災体制の充実・強化 …… 401
●防火安全対策の推進 …… 401
●応急手当普及啓発活動の推進 …… 402
目標０６　安全安心の日常生活 …… 403
●交通安全・防犯活動の推進 …… 403
●消費生活相談事業の推進 …… 404
目標０７　助け合いいのちを大切にするまち…… 405
●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び地域支援の推進 …… 405
●自立支援事業の推進 …… 406
●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進…… 409
●骨髄等提供ドナー支援の推進 …… 409
●新型コロナウイルス感染症対策の推進…… 409
目標０８　夢と健康を育むまち …… 410
●第３次健康づくり計画・第４次食育推進計画・第２次自殺対策計画に基づく事業実施 …… 410
●予防接種・健康診査・がん検診の推進…… 411
●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進…… 415
●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境…… 415
目標０９　持続可能な地域医療・介護体制…… 418
●夜間・休日診療体制の維持 …… 418
●地域包括ケアシステムの発展 …… 418
●医療費の助成 …… 420
●国民健康保険・後期高齢者医療の状況…… 422

基本目標Ⅲ　希望と活力に満ちたまち
目標１０　いきいきと働きやすいまち…… 424
●企業誘致活動の実施 …… 424
●多様な人材を活かせる労働環境の整備…… 424

目標１１　恵まれた土地を生かした農林業..... 426
●生産基盤整備の充実 426
●経営の強化と担い手の育成・確保..... 426
●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進..... 427
目標１２　暮らしを支える商業 429
●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援..... 429
●第３期恵庭市中小企業振興基本計画の策定..... 429
●金融対策事業 429
●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進..... 430
目標１３　来てみたいまち　住んでみたいまち..... 431
●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出..... 431
●移住・定住の促進 433
●都市間交流の促進 433

基本目標Ⅳ　人が育ち文化育むまち
目標１４　地域で育む子育て環境 434
●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討..... 434
●保育園、認定こども園における待機児童の解消..... 439
●保育士等の人材確保と質の向上 441
●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進..... 441
目標１５　心豊かな思いやりをもった子どもの育成..... 442
●体験型事業の推進 442
●読書活動による子どもの育成 443
目標１６　子どもの自立成長を促す学校教育..... 444
●ふるさと教育の推進 444
●教育環境の整備促進 445
目標１７　手を取り合い創造性を育む文化芸術..... 449
●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進..... 449
●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり..... 452

基本目標Ⅴ　地域資源・都市基盤を活かすまち
目標１８　地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり..... 454
●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進..... 454
●新市街地の拡大検討 454
●西島松・南島松地区用地取得の推進..... 454
目標１９　水と緑豊かな生活空間づくり..... 455
●水・緑など恵庭の魅力の維持 455
●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保..... 456
●防衛施設周辺整備等事業の推進 456
目標２０　安全で円滑な地域交通 458
●除排雪の維持 458
●身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築） 458
●橋梁耐震化など安全な道路網の維持..... 459
●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持..... 460
目標２１　安定した水供給と持続的な下水処理..... 461
●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営..... 461
●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、
安定的・持続的な上下水道事業の運営..... 461
●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、
効率的な資源・エネルギー循環の取組み..... 462
目標２２　住み続けたくなるまちづくり　住まいづくり..... 463

目標２３　ごみの減量と適正な処理 465
●ごみ処理量及び発生量 465
●食品ロス削減の推進 466
●最終処分場整備事業費 466
目標２４　次世代へつなげる環境 467
●地域環境美化活動への支援 467
●地域に応じた自然環境の保護と管理..... 467
●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発..... 468

基本目標Ⅰ　市民による市民のためのまち

目標０１　様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

町内会や各種地域団体、ボランティア団体などとのネットワーク化に加え、「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす)」を市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。

・市民活動支援補助金（P.63）　　１，２２０千円

まちづくりチャレンジ協働事業補助金（１３団体　１２事業）	１，０４４千円
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金（４団体　４事業）	１７６千円

・市民活動センター推進事業（P.63・66）

市民活動のより一層の活性化を図るとともに、町内会や市民活動団体の自主的・主体的な活動を総合的に支援する「ＮＰＯ法人恵庭市市民活動センター運営協議会」との協働により、市民活動団体に対し、活動拠点の提供、機器貸出、情報発信などを行い、活動を支援しました。

令和８年３月末現在会員数：１２８（団体８０　個人１４　企業３４）
備品貸出：３５７件　印刷利用：５３２件　ロッカー：６件　展示：２２件
市民活動センター情報を回覧や公共施設等指定の場所に配布して情報発信

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

・地域会館維持管理・自治活動支援（P.63）

地域会館維持管理費補助金	１，０１７千円
地域会館借上費補助金	１，３４４千円
（島松東町、相生町、末広）	
地域会館除却費補助金（漁太中央集会所、中島松北会館）	９９５千円
町内会活動活性化事業補助金（２０団体　２０事業）	１，９５１千円
自治活動交付金	２５，４９４千円

・地域会館改修事業（P.63）　　９，９００千円

地域会館の維持補修工事（黄金中央会館、中恵庭会館）

・「えにわ知恵ネット」事業（P.63）

登録団体数　１１３団体（団体８１　個人３２）

・地域担当職員制度の実施

地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

・生活環境改善要望（２６４件）
・地区町内会連合会役員会等への参加

目標０２　時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・第７次行政改革推進計画の推進

第７次行政改革推進計画における３本柱、「時代に即した業務手法の見直し」、「市民満足度と利便性の向上」、「健全な行財政基盤の強化」に基づき施策を推進しました。

・時代に即した業務手法の見直し
　・事務事業の見直し
　　令和４年度からの事務事業進捗管理　１事業
　　令和７年度からの事務事業評価　３事業
　・行政評価マニュアルに基づく市民参加状況の進捗管理
　・事務事業改善計画（案）の検討
　・市民参加推進方針（案）の検討
・市民満足度と利便性の向上
　・まちの政策市民提案制度（案）の検討
　　行政改革推進委員会でまちの政策市民提案制度（案）の仕組みを検討
　・市民相手の手続きに係る押印見直しの推進
　　押印廃止可能様式のうち全ての押印を廃止（令和７年１０月末現在）
・健全な行財政基盤の強化
　・内部統制制度の推進（評価）
　　定例モニタリング　２１課
　　事故発生時モニタリング　２課
　・公共施設等総合管理計画実施計画の進捗管理（削減目標３％）
　　実施計画における公有財産面積　２５９，６８０．５３㎡
　　削減面積の累計　１２，４７１．７０㎡（△４．８０％）
　　令和７年度削減面積　４５８．６２㎡（解体等）
・第７次行政改革推進計画及び次期大綱
　・第７次行政改革推進計画の進捗確認
　・行政改革大綱２０２６の策定

・恵庭市デジタル化推進計画の推進
　・電子契約サービスの導入（P.52）　６２千円
　　記名・押印が必要であった契約締結作業をインターネットサービス上で完結できる電子契約サービスを導入しました。導入初年度である令和７年度は建設工事請負契約を対象とし、令和８年３月から運用開始しました。
　　・令和７年度電子契約実績　６件

　・書かない窓口の推進（P.57～58）　１０１，０５４千円
　　令和５年度に窓口業務支援システムを導入し、住民票や戸籍等の３０種の証明書の申請について、【書かない窓口】による手続きを開始しました。令和７年度には９４の手続き案内、３６の手続きを市民課にてワンストップ化しました。
　　・介護保険加入手続（転入）　・国民健康保険脱退手続（転出）
　　・後期高齢者医療保険証等の返却（転出）　など
　　このほか、本庁舎１階を書かない窓口・ワンストップ化に適したレイアウトへの改修を行いました。

・ＲＰＡ、ＡＩ－ＯＣＲの活用業務の拡大

市民税賦課業務や法人市民税、固定資産税、軽自動車税の入力補助やデータチェック業務等に対して、令和元年度に導入したＲＰＡシステム、ＡＩ－ＯＣＲの活用範囲を拡大することで作業時間の削減を図りました。

また、全庁向けに研修会等を開催し、これまで活用してきた業務以外での導入を進めました。

・令和７年度新規導入業務　８業務

・令和７年度作業時間削減効果（累積）　１，６８３時間

・恵庭市公式ＬＩＮＥアカウントの機能拡大（P.58）　３８８千円

令和５年度に開設した市公式ＬＩＮＥアカウントはプッシュ通知を行うだけでなく、市民から市の様々な情報にアクセスしやすい環境を整備しており、令和７年度には１０機能を追加しました。

公式ＬＩＮＥ追加機能

・公園不具合通報作業者報告機能
・戸籍フリガナ対応手続き予約
・火葬場予約
・火葬場予約確認機能
・国勢調査連絡機能
・不足額給付（調整給付金申請）
・公園台帳（公園カルテ）
・確定申告予約（住借）
・特別支援教育支援員への連絡機能
・はたちのつどい事前登録

・職員研修の充実

人材育成基本方針に基づき作成された職員研修計画を適宜実行し、人材の育成に努めました。

他市との合同研修は、江別市、北広島市との３市合同研修、及び千歳市との連携事業に基づく合同研修を実施しました。

ＯＪＴ計画「職員育成計画」は、対象を新規採用職員及び採用２年目職員とし、課題解決への対応を学習し、また、市民の視点に立ったサービス提供に向けて進めています。

・階層別基本研修（新規採用職員研修ほか）
・特別研修（キャリアデザイン研修、プレゼンテーション研修ほか）
・先進都市派遣研修

・広域共同事業の推進

近隣１２市町村で形成される「さっぽろ連携中枢都市圏」に参画し、広域的な連携事業を推進しました。また、千歳市と締結している「連携施策の充実拡大に関する覚書」による連携事業に取り組みました。

・さっぽろ連携中枢都市圏事業数　５５事業
新たに連携を開始した、医療的ケア児レスパイト事業に参画

・千歳市との連携事業数　２８事業３９項目（うち、情報共有　１９項目）
実施　１９事業（災害時における連携及び支援体制の確保、防火管理者講習会の共同開催を新規に実施）

・おくやみ窓口の推進

死亡に係る手続きが１つの窓口で行えるおくやみ窓口の開設を継続しました。多数ある手続きのワンストップ化を図り、遺族の方の負担を軽減し、市民サービスの向上を図りました。

おくやみ窓口利用者数　３１０名（利用率３７．０％）

・恵庭市公式アプリ開発事業（P.69）　　７，９１１千円

令和７年度は、多言語化対応として英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語・ベトナム語・ネパール語の５言語に対応しました。在住外国人や外国人観光客が必要な情報を容易に取得できる環境を整備したことにより、利便性向上、多文化共生社会の推進を図りました。

・アプリ登録者数　１０，１５０人　　・アプリ参加事業者数　１８６か所

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・第６期総合計画策定事業（P.69）　　３，２３４千円

令和８年度から始まる第６期総合計画を策定しました。総合計画審議会をはじめとする各種会議を開催し、計画作成を進めました。

・市民意識調査の実施
・総合計画審議会を２回開催
・総合計画審議会各部会及び総合調整部会を計１０回開催
・パブリックコメントの実施
・総合計画審議会から答申（１０月２８日）
・総合計画議決（１２月１６日）

・市税・国保税の納付方法の多様化による利便性向上

市・道民税、国民健康保険税についてはコンビニエンスストア、スマホアプリ、クレジットカードによる納付に、固定資産税・都市計画税、軽自動車税についてはこれらに加えてエルタックスによる納付に、それぞれ対応することで、納税時の利便性向上を図りました。

納付率（件数ベース）の推移

	市・道民税（普徴）		固定資産税・都市計画税		軽自動車税種別割		国民健康保険税	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6
ｺﾝﾋﾞﾆ	45.2%	47.2%	27.6%	28.0%	52.9%	51.1%	31.6%	31.2%
ｸﾚｼﾞｯﾄ	2.8%	2.4%	1.8%	1.7%	1.9%	1.8%	0.9%	0.9%
ｽﾏﾎｱﾌﾟﾘ	7.3%	4.8%	1.8%	1.1%	2.2%	3.6%	4.3%	2.6%
ｴﾙﾀｯｸｽ	－	－	7.7%	6.5%	8.5%	11.9%	－	－

※納付率は税目毎の納付総件数に対する割合
※ｴﾙﾀｯｸｽは金融機関窓口での納付分を除く

●公共施設の適正配置による機能面の充実

・複合施設の利用促進

市民活動の拠点「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」
貸部屋数１３か所　来館者数３４７，５３１人　各室利用人数７７，５６１人

●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付

・マイナンバーカードの交付円滑化事業（P.81）

予約制、休日・平日夜間交付窓口の開設を継続したほか、出張申請支援などマイナンバーカードの円滑な申請・交付を図り、市民の利便性が向上する取り組みを実施しました。

休日・平日夜間交付窓口の開設　休日１３日、平日夜間２８日
出張申請サポートイベントの実施　２０回　申請５１１件
マイナンバーカード交付率　　１０５．４％（令和７年度末現在）
マイナンバーカード交付数　　１０，０３１枚（累計７４，２６０枚）
マイナンバーカード保有枚数率　　８４．７％（令和７年度末現在）
マイナンバーカード保有枚数　５９，６４６枚
コンビニ交付サービス利用件数　２８，２４８件（令和６年度　２３，７２０件）

目標０３　ともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実（P.60）　　**１９，２６９千円**

広報えにわ発行　　４１２，５０７部　（月平均３４，３７６部）

・コミュニティＦＭラジオの活用（P.60）　　**６，５８６千円**

恵庭市からのお知らせ	月～金曜日各日３回
	土曜日１回、日曜日２回、月～金曜日同日再放送あり
恵庭タウンガイド	月～木曜日各日１回
生活環境課からのお知らせ	週３回
みんなで地域防災	毎週金曜日１回
保健センターからのお知らせ	毎週木曜日１回
イベント放送（職員の声）	年２回

・出前講座の実施

実施件数　１４０回　　受講者数　５，２８４人

・市公式ＳＮＳでの情報発信

生活情報やイベント情報を広く伝えるため、市公式Ｆａｃｅｂｏｏｋ及び市公式Xを継続運用し、情報発信しました。

●開かれた行政運営の推進

・広聴活動

市民生活に関する相談窓口の充実を図るため、庁内をはじめ関係機関と連携しながら、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声（苦情・相談など）	４３件	
弁護士法律相談	３６回	１９６人
司法書士法律相談	４回	１２人
人権委員・行政委員相談	２回	３人
総合行政相談	１回	１人

・市民の広場の実施

・開催テーマ：「多文化共生を考える」
開催日：１月１９日　市民活動センター　会議室８－１～３　参加者４４名
ワークショップ形式で、グループ発表、市長との意見交換を行いました。

・パブリックコメントの推進

パブリックコメント実施状況（１７案件、３９名、意見数５８件）

・議会文化芸術回廊の設置

市民が文化芸術に触れ、議会を知ってもらう機会とするため、市内芸術家の作品を議場廊下へ展示する文化芸術回廊を設置しました。

設置日：１２月２３日

展示数：写真３点、絵画３点、書道３点、アート書道２点、パッチワーク２点

・議場コンサートの開催

市民が議会を身近に感じ、気軽に議場へ足を運んでもらう機会とするため、本会議の議場を開放し、定例会会議開始前に恵庭市にゆかりのある個人・団体による議場コンサートを開催しました。

開催日：令和７年第２回定例会（６月１７日）

出演者　THE 国境ナイズ　　傍聴者２６名

令和７年第３回定例会（１０月１４日）

出演者　バトントワリングチーム リップル　　傍聴者１６名

令和７年第４回定例会（１２月２日）

出演者　恵庭市立柏陽中学校　合唱部　　傍聴者４０名

令和８年第１回定例会（３月２４日）

出演者　Ruminos Perrformance（Dance Studio Ruminos）　　傍聴者４５名

基本目標Ⅱ　誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標０４　災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくり、自然災害対応を見据えた強靭化の推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・避難行動要支援者個別避難計画作成の推進（P.155）　　４２３千円

災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者個別避難計画の作成を推進し、平常時からの市民の防災意識の向上と、円滑な避難支援実施の仕組みづくりに取り組みました。

・避難行動要支援者個別避難計画作成の推進
対象者：１，６２１名　回答者：８３１名　作成同意者：２１９名　計画完成者：２０９名
プランナー研修会の開催：７回　プランナー登録者数：２４７名

・自主防災組織の育成（P.155）　　２，１３３千円

自主防災組織の活動を支援し、活動の活性化や組織率の向上を図り、災害に強い地域防災力を推進するため、自主防災組織における防災資機材の購入や防災訓練等の活動に対し、経費の一部を助成しました。

・令和７年度末　自主防災組織　４６組織（昨年度末４５組織）
・防災活動支援（ハード）　　４件
・防災活動支援（ソフト）　　２１件
・自主防災設立準備支援　　０件

・緊急防災ラジオの助成販売（P.155）　　１，１５６千円

災害時等に自動起動して緊急放送を受信する緊急防災ラジオを１００台助成販売しました。

・防災備蓄品・資機材の整備（P.156）　　６，９４２千円

「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の備蓄を計画的に整備しました。

・全国瞬時警報システム（Ｊアラート）新型受信機導入事業（P.156）　　４，６４２千円

国民保護事態や気象特別警報等の情報を迅速かつ確実に伝達する環境整備のため、受信機の更新を行いました。

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進（P.139）

・平成２２年度「木造住宅耐震診断・耐震改修助成」開始
令和７年度実績：診断　１４件、改修　０件、除却　４件

目標０５　支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防防災体制の充実・強化

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防・救急車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新（P.152～155）

・消火栓更新整備事業	２０基	１０，２０３千円
・防火水槽整備事業	１式	２，０１３千円
・はしご付消防ポンプ車更新整備事業	１台	２９，１７３千円（令和７年度分）
＊リース期間　平成２９年２月１日～令和９年１月３１日		
・札幌圏消防共同指令センター整備事業	１式	１５０，２８８千円
・消防救急デジタル無線共同整備事業	１式	１４２，０４０千円
・救助工作車更新整備事業	１式	１８５，９００千円
・無人航空機更新整備事業	１式	２，６４０千円
・消防庁舎改修整備事業（基本設計）	１式	８，４７０千円
・消防団資器材整備事業	１式	１，５０２千円
・学生消防サポーター制度	令和７年度	１０８名登録
・救急資器材整備事業	１式	３，５０９千円

・救急体制の充実に伴う効率化（P.151）

救急支援システムの運用開始により病院連絡から収容先決定までの時間短縮に努めました。特に要請が難航する事案においては顕著な効果が認められました。

・メディカルコントロール体制の充実（P.151）

救急救命士の研修及び病院実習を実施し、特定行為を実施するために必要な資格の取得と隊員の知識、技術向上を図り、救急体制の向上に努めました。

●防火安全対策の推進

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

・令和７年度設置率：７７．４％（昨年度７７．８％）
・防火対象物立入検査：２２９件
・危険物施設立入検査：１３７件

・幼少年期の防火教育の推進

市イベントでの消防車車両展示や幼稚園での消防訓練の際、子どもを対象に子ども用防火衣を着用し、消防車乗車体験や消火体験をしてもらうことにより、防災防火思想の醸成を図りました。

・幼年火防クラブ写生会　参加者８３名
・消防祭　参加者４７２名

●応急手当普及啓発活動の推進

・応急手当普及啓発活動の推進（P.152）

・バイスタンダー養成等の救急救命講習会の実施

開催状況　上級（１回・９人）普通（５９回・６６１人）一般（２９回・６２２人）
救命入門（３２回・１，２５０人）

・小学校６年生、中学校２年生への救命講習の実施（令和７年度）

市内全小学校　受講者総数６１８名

市内全中学校　受講者総数５４８名

・市職員への救命講習の実施（令和７年度）

受講者総数　８５名

・ＡＥＤの普及・促進（P.152）

・ＡＥＤ設置施設表示証交付状況

表示証交付施設数（令和７年度末）：２１５施設

目標０６　安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画（令和３年度～令和７年度)」に基づき、地域や関係団体、警察署と連携をとりながら各種事業や運動を展開し、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪の未然防止に努めました。また、防犯協会を中心に地域単位での防犯組織づくりを進めるとともに、防犯施設の整備促進など防犯体制の強化に努めました。

・自主防犯活動の促進（P.62）

1） 地域安全ニュースの発行
市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2） 歳末警戒巡回パトロール及び地域安全運動の実施
１２月１９日に金融機関、コンビニ、商業施設等にて実施

3） 青色回転灯車によるパトロール及び防犯パレードの実施

・防犯灯等の設置状況（P.62）　　**７９１千円**

令和７年度新設・廃灯状況 防犯灯　新設７箇所・撤去６箇所

・防犯カメラ設置補助（P.62）　　**９５９千円**

令和７年度設置補助金　６町内会、６台

・交通安全啓発活動の実施（P.62）

1） 人身事故発生状況（各年１２月末現在）　（人）

区分／年	発生件数	負傷者	死者
R7 年	87	92	0
R6 年	97	112	1
比　較	△10	△20	△1

2） 交通安全啓発事業
・交通安全警戒・注意等の看板の設置　１６基
・交通安全運動の実施　４期（４月・７月・９月・１１月）４０日
・自転車マナー啓発の実施　恵庭北高校１回、恵庭南高校２回
・えにわサイクルパーク利用実績　団体利用１，９９２人、個人利用１３，７２６人
・ドライブシミュレータを活用した高齢者安全講習１回、２９人
・自転車シミュレータを活用した安全運転診断１回、７９人
・市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催
・交通安全教室の開催　（人）

区　分	幼稚園･保育園・認定こども園	小学校	町内会等	合　計
回　数	52	46	3	101
参加人員	2,805	3,307	53	6,165

3） 運転免許証自主返納出張窓口の開設
開設回数１２回、免許証返納者数９０人

4） 交通指導員の活動
・交通安全指導員（１２名）
４期４０日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施

・**交通安全対策交付金事業（P.143）**　　**１１，０００千円**

・区画線塗布工事

区　分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
R7 年度	17,461	24,475	737	759
R6 年度	22,511	36,343	1,181	100
比　較	△5,050	△11,868	△444	659

●消費生活相談事業の推進

特殊詐欺や悪質商法等の消費トラブルなどに迅速・的確に対応するため、有資格者による消費生活専門相談員を配置し、消費者の保護、被害の未然防止を図りました。また、消費者協会と連携し消費者被害防止セミナーを開催するなど正しい情報や知識を広く市民に提供し、自己防衛のできる消費者の育成を図りました。通話録音機能等の特殊詐欺防止機能付き電話機等の導入費用を補助する「特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金」の推進を図りました。

・**消費生活相談及び小売価格調査等の実施（P.62）**　　**７，１８８千円**

消費生活相談業務

区　　分	R7 年度	R6 年度	増　減
相談件数	465	386	79

（相談内訳）

区　分	契約・金銭トラブル	サイト登録等	通信販売	勧誘訪問販売	架空請求	問合せ	その他	計
件　数	108	11	170	26	6	21	123	465

消費者出前講座

講　座　内　容	回　数	人　数
高齢者等消費者教育について	4	96

1）パネル展の開催　２回

2）小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・ＬＰガス)

調査回数：毎月１回

調査地区：１３店舗

3）試買量目調査の実施状況

実施回数：年１回

調査品目：生鮮食料品　６品目

調査地区：９店舗

4）消費者被害防止セミナー開催

テーマ：「特殊詐欺事例と防止対策について」、「円満な相続の実現のために」、「キャッシュレスって何？」

参加者：１３人

5）市内街頭啓発の実施　年１回

6）消費者被害防止ネットワークの推進　情報発信１２件

・**特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金（P.63）**　　**２９８千円**

補助金交付件数：３１件　（１件につき上限１万円）

・**無料法律相談の実施（P.61　目標０３に別掲）**　　**１，１８８千円**

弁護士法律相談　　３６回　１９６人

司法書士法律相談　　４回　　１２人

目標０７　助け合いいのちを大切にするまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び地域支援の推進

（P.92～93・99～101）

・児童通所支援等福祉サービス

区　　分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R7 年度	15,199	225	210,745	37,162	327	423,624	159	13	2,963
R6 年度	13,808	230	177,507	35,253	289	399,415	113	7	1,997
比　較	1,391	△5	33,238	1,909	38	24,209	46	6	966
区　　分	居宅訪問型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
R7 年度	16	1	254	307	15	7,864	238	2	1,992
R6 年度	17	2	301	491	13	15,544	315	5	2,399
比　較	△1	△1	△47	△184	2	△7,680	△77	△3	△407

・地域生活支援事業

区　　分	移動支援事業			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R7 年度	456	6	1,974	0	0	0
R6 年度	916	7	4,014	0	0	0
比　較	△460	△1	△2,040	0	0	0
区　　分	日中一時支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R7 年度	3	2	8	38	2	472
R6 年度	3	1	11	43	1	538
比　較	0	1	△3	△5	1	△66

・医療的ケア児レスパイト事業（新規）

区分	登録者数	利用時間	金額(千円)
R7 年度	2	9.0	108

・子ども発達支援センター事業　　（延人数）

区　分	障がい児通所支援			相談支援事業	
	児童発達支援	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	障がい児相談支援	特定相談支援
R7 年度	3,447	88	16	1,155	10
R6 年度	3,976	72	2	1,074	45
比　較	△529	16	14	81	△35

区　分	地域支援事業							合　計
	センター基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達支援教室	巡回発達相談	小児神経医による発達相談	北海道文教大学連携事業	
		1歳6ヵ月健診	3歳児健診					
R7 年度	108	29	39	106	38	24	53	5,113
R6 年度	120	30	33	77	36	24	48	5,537
比　較	△12	△1	6	29	2	0	5	△424

●自立支援事業の推進（P.87～88・90～96・108）

・ボランティア活動推進事業　　市補助　　１，０００千円
・認知症高齢者対策事業　　市補助　　１８６千円
・民生・児童委員連絡協議会活動の促進　　市補助　１３，０６０千円

・障がい者就労支援事業の推進

農福連携による就労機会の提供

延参加者数　　３，５７６人

・障がい者自立支援事業の推進

障がい者施設系サービス（自立支援給付）

区　分	居住系サービス		日中活動系サービス					合　計	
	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	生活介護	就労移行支援	就労継続A	就労継続B	自立訓練	実人員	金額(千円)
R7 年度	87	191	199	30	79	384	7	977	1,810,525
R6 年度	91	178	200	36	92	363	6	966	1,661,879
比　較	△4	13	△1	△6	△13	21	1	11	148,646

※人員は新体系の利用者で居住系及び日中活動系サービスの双方を利用している者は、それぞれの人数に計上

※利用人員は、年度直近（2月末現在）

・地域活動支援事業の実施

区　分	地域活動支援センター	
	設置箇所	利用延人数
R7 年度	1	1,976
R6 年度	1	1,979
比　較	0	△3

・在宅支援サービスの状況

1)身体障がい者居宅生活支援

区　分	居宅介護事業			日中一時支援事業（ケア型）			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R7 年度	5,386.0	31	33,211	0	0	0	222	8	5,088
R6 年度	6,221.0	32	35,403	0	0	0	298	5	5,396
比　較	△835.0	△1	△2,192	0	0	0	△76	3	△308

2)知的障がい者居宅生活支援

区　　分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R7 年度	773.5	19	4,363	635	25	5,379
R6 年度	648.5	21	3,520	808	27	6,881
比　較	125.0	△2	843	△173	△2	△1,502

3)精神障がい者支援

区　　分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R7 年度	680.8	13	4,024	8	2	27
R6 年度	967.5	15	5,805	13	2	97
比　較	△286.7	△2	△1,781	△5	0	△70

区　　分	就労継続 A			就労継続 B			就労移行		
	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R7 年度	5,768	36	46,369	22,487	178	199,813	1,327	14	14,162
R6 年度	6,098	47	46,030	21,275	168	183,644	1,440	15	14,563
比　較	△330	△11	339	1,212	10	16,169	△113	△ 1	△401

4)精神障がい者地域活動支援センター等通所交通費助成

区　　分	通所施設数	実人員	助成日数
R7 年度	29	44	4,380
R6 年度	32	45	5,245
比　較	△3	△1	△865

5)地域生活支援事業

区　　分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R7 年度	648	32	1,973	324	11	604
R6 年度	1,185	40	4,271	321	11	568
比　較	△537	△8	△2,298	3	0	36

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「ｅ-ふらっと」

区　　分		身体	知的	精神	重度心身	発達	高次脳機能	難病等その他	総計	障がいの重複分	重複除く計
R7 年度	相談実件数	186	643	773	3	260	12	137	2,014	248	1,766
	相談延件数	625	2,815	3,476	4	1,129	33	545	8,627	1,166	7,461
R6 年度	相談実件数	177	572	717	13	188	6	105	1,778	215	1,563
	相談延件数	647	1,909	2,712	43	559	7	314	6,191	879	5,312
比　較	相談実件数	9	71	56	△10	72	6	32	236	33	203
	相談延件数	△22	906	764	△39	570	26	231	2,436	287	2,149

・老人憩の家利用状況

区　　分	利用者数	開館日数	１日あたりの利用者数平均
福　住	2,479	191	12
和　光	11,001	292	37
大　町	5,172	292	17
柏　陽	9,454	292	32
恵み野	11,019	293	37
島　松	14,269	296	48
合　　計	53,394	1,656	32

・老人健康ハイキング　２２クラブ　２１９名参加

・老人クラブ運営事業の推進　単位老人クラブ運営費補助　２８クラブ　１，４０２千円

・敬老祝品贈呈事業　１００歳２７人　計２５２千円

・福祉バスの運行　運行日数２１２日　利用者数６，１３８人

・高齢者健康増進事業

当該年度の１月１日時点において満７５歳以上かつ、前年中に介護保険法に規定するサービス提供を受けていない方に対し、健康増進助成券を配布し、高齢者の健康維持を図りました。

交付対象者数８，３５１人　　利用率６８．４％（６３，７７１枚/９３，２３５枚）

・生活保護の状況（年度末）

区　　分	保護世帯数	保護者数
R7 年度	776	969
R6 年度	789	993
比　較	△13	△24

区　　分	Ｒ　７　年　度		Ｒ　６　年　度		比　　較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	10,129	444,899	10,397	461,363	△268	△16,464
住宅扶助	10,184	208,045	10,521	213,667	△337	△5,622
教育扶助	637	5,469	684	5,849	△47	△380
介護扶助	2,514	26,837	2,350	25,365	164	1,472
医療扶助	10,370	921,366	10,532	894,327	△162	27,039
生業扶助	222	2,822	277	3,600	△55	△778
葬祭扶助	6	2,068	11	3,450	△5	△1,382
出産扶助	1	4	0	0	1	4
施設事務費	10	2,732	4	608	6	2,124
就労自立給付金	8	343	10	538	△2	△195
進学準備給付金	4	800	4	800	0	0
合　　計	34,085	1,615,385	34,790	1,609,567	△705	5,818

・ケアラー支援推進事業（P.88）　　１，３２３千円

ケアラーについて、今後必要とされるケアラー支援について深く学び、正しい理解を広めるために、「ヤングケアラー啓発講座」の開催や啓発活動を実施し、恵庭市全体でケアラーの知識を深めることができました。引き続き、ケアラー問題について市民が一体となり、様々な視点からケアラー支援について検討し、全てのケアラーとその周りの全ての人が自分らしくいきいきと安心して生活できる社会の実現を目指します。

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業（P.75）　　３６６千円

・情報紙「さくらんぼ」の発行　１回（３月）
・パネル展示の実施
　男女共同参画推進週間（６月　恵庭駅西口空中歩廊）
　女性に対する暴力をなくす運動（１１月　恵庭駅西口空中歩廊）
・男女共同参画フォーラムの開催（１１月　恵庭市民会館　参加者：３４名）
・啓発事業
　パンフレット等の配布、Ｆａｃｅｂｏｏｋを活用した周知活動
・恵庭市男女共同参画推進協議会に係る事務支援
　・役員会　４回参加
　・定期総会に係る事務支援　　参加者：２８名参加
　・講演会・事例発表会に係る事務支援　　参加者：３９名参加
・第３次恵庭市男女共同参画基本計画の策定
　国の「男女共同参画社会基本法」を基本とし、平成１５年に制定した「恵庭市の男女が平等に暮らすために共に歩む条例」第３条を基本理念とする、第３次計画を策定

●骨髄等提供ドナー支援の推進

・骨髄等提供ドナー支援制度及び普及啓発事業（P.112～113）　　６４３千円

骨髄・末梢血幹細胞の提供となった市民を対象とした骨髄ドナー助成を実施しました。
また、より多くの人がドナー登録できるような環境づくりや骨髄等を提供しやすい助成制度に関する動画を作成し、ＳＮＳ広告等を通じて普及啓発などを行いました。
・令和７年度助成制度実績：申請件数　２件（支給額合計：２８０，０００円）
・令和７年度普及啓発事業：普及啓発動画　２本作成
　Ｉｎｓｔａｇｒａｍ、ＹｏｕＴｕｂｅで動画配信

●新型コロナウイルス感染症対策の推進

・住居確保給付金事業（P.89）　　２２２千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅に困窮する世帯に「住居確保給付金」による家賃補助を行うとともに、就労支援を行いました。
・支給世帯数　：４世帯
・総支給額　　：２２２，０００円

目標０８　夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●第３次健康づくり計画・第４次食育推進計画・第２次自殺対策計画に基づく事業実施

(P.110～112・239～241)

・健康教育・健康相談事業の充実

区　　分	健康増進事業		出前講座・授業普及啓発		ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｳｫｰｷﾝｸﾞ講習会		Jﾘｰｸﾞｳｫｰｷﾝｸﾞ		健康相談	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	参加数	回数	延人員
R7 年度	7	138	192	7,093			1	188	958	1,267
R6 年度	7	247	168	5,157	3	71	1	191	884	1,157
比　較	0	△109	24	1,936	△3	△71	0	△3	74	110

※ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｳｫｰｷﾝｸﾞ講習会はR6年度で終了

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区　　分	参加数	休憩所数	休憩所利用者数
R7 年度	2,318	25	3,560
R6 年度	2,361	26	3,404
比　較	△43	△1	156

・食育推進事業の実施

区　　分	食育講座・講話		講演会		食育推進協議会回数	食育展示回数
	回数	参加数	回数	参加数		
R7 年度	2	24	1	72	1	4
R6 年度	2	38	1	55	3	4
比　較	0	△14	0	17	△2	0

・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

区　　分	健口教室	
	回数	人数
R7 年度	4	103
R6 年度	4	102
比　較	0	1

・こころの健康づくり普及啓発

区　　分	講演会		ゲートキーパー養成講座		出前講座		パネル等展示	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	日数
R7 年度	1	26	1	18	6	137	3	96
R6 年度	1	55	1	45	3	64	3	43
比　較	0	△29	0	△27	3	73	0	53

・こころの健康相談

区　分	電話相談/メール		来所相談		訪問		ひきこもり相談	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R7 年度	79	364	21	54	5	83	17	66
R6 年度	68	270	11	33	3	31	9	21
比　較	11	94	10	21	2	52	8	45

・高齢者介護予防事業の実施

区　分	介護予防普及啓発事業								地域介護予防活動支援事業				
	講演会		高齢者健康づくり教室		老人クラブ健康教育		えにわウェルカム 75		百歳体操サポーター養成講座			サロン支援	
	回数	人　員	回数	延人員	回数	人　員	回数	人　員	回数	実人員	延人員	回数	延人員
R7 年度	1	51	8	173	24	406	4	103	4	27	51	21	309
R6 年度	1	65	6	150	34	640	4	102	4	24	43	28	465
比　較	0	△14	2	23	△10	△234	0	1	0	3	8	△7	△156

区　分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		70 歳訪問		その他	
	回数	延人数	回数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R7 年度	3	34	0	0	350	382	40	73
R6 年度	5	28	0	0	286	312	50	65
比　較	△2	6	0	0	64	70	△10	8

●予防接種・健康診査・がん検診の推進

・エキノコックス症予防対策事業

区　分	受診数	擬陽性	陽性	中止
R7 年度	10	0	0	0
R6 年度	27	0	0	0
比　較	△17	0	0	0

・予防接種事業

区　分	BCG 接種	五種混合	四種混合	不活化ポリオ	二種混合 11～13 歳未満	麻しん	風しん	混合（麻風しん）	ヒブ
R7 年度	334	1,347	156	4	454	0	0	792	26
R6 年度	375	904	641	1	448	0	0	803	566
比　較	△41	443	△485	3	6	0	0	△11	△540

区　分	小児用肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	日本脳炎	B 型肝炎	ロタウイルス（ロタテック）	ロタウイルス（ロタリックス）
R7 年度	1,350	556	649	1,789	1,022	639	231
R6 年度	1,484	1,614	717	1,877	1,076	755	224
比　較	△134	△1,058	△68	△88	△54	△116	7

区　　分	インフルエンザ	新型コロナウイルス	肺炎球菌（定期）	帯状疱疹（生）	帯状疱疹（組換え）	風しん（第５期）
R7 年度	9,695	865	342	474	1,217	0
R6 年度	9,466	2,480	167			14
比　較	229	△1,615	175			△14

○子宮頸がんは国の通知に基づき、令和４年４月より受診勧奨再開及びキャッチアップ接種開始
キャッチアップ接種は令和７年３月で１回目接種の対象期間が終了し、令和７年４月以降は
２～３回目接種のみ対象

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区　　分	健康診査・保健指導		特定保健指導		訪問指導	肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	積極的	動機付け	40～64 歳	受診者数	Ｃ型陽性	Ｂ型陽性
R7 年度	27	5	25	108	72	379	0	1
R6 年度	30	5	21	133	43	424	0	3
比　較	△3	0	4	△25	29	△45	0	△2

区　分	胃がん検診			大腸がん検診			肺がん検診（読影）			肺がん検診（喀痰）	
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精密検査者数
R7 年度	1,508	109	2	2,408	212	5	2,126	65	2	38	0
R6 年度	1,521	147	1	2,332	189	1	2,166	61	0	46	0
比　較	△13	△38	1	76	23	4	△40	4	2	△8	0

区　　分	子宮がん検診　※			乳がん検診　※		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
R7 年度	902	13	0	1,139	36	5
R6 年度	853	11	0	1,043	35	1
比　較	49	2	0	96	1	4

○「要精検」「発見がん」の件数については、令和６年度は実績値、
令和７年度は令和８年６月４日現在
○子宮がん検診は、頸部・体部
※がん検診推進事業分含む

・歯科保健事業の充実

区　　分	乳幼児歯科健診（人）			成人歯科検診		歯周疾患検診						う歯予防
	1 歳 6 か月	乳歯けんしん	3 歳児	回数	受診数	受診数	妊婦	産婦	節目	要指導数	要精検者数	フッ素塗布者数
R7 年度	367	58	466	1	63	308	96	15	197	58	118	483
R6 年度	386	71	472	1	57	282	98		184	91	140	460
比較	△19	△13	△6	0	6	26	△2		13	△33	△22	23

※産婦の歯周疾患検診は R7 年度から実施

・妊産婦健康診査費用の助成

区　　分	妊婦健康診査				産婦健康診査	
	受診人数	助成回数	一般健診	超音波検査	受診人数	助成回数
R7 年度	569	6,022	4,125	1,897	349	596
R6 年度	606	6,545	4,443	2,102	386	624
比　較	△37	△523	△318	△205	△37	△28

・不妊治療費等の助成

区　分	助成延数
R7 年度	39
R6 年度	29
比較	10

・低所得妊婦初回産科受診の助成

区　分	助成延数
R7 年度	2
R6 年度	1
比較	1

・産後ケア事業

区　　分	宿泊型		日帰り型		訪問型	
	実人数	宿泊数	実人数	延回数	実人数	延回数
R7 年度	17	42	58	142	29	73
R6 年度	11	29	35	135	10	20
比　較	6	13	23	7	19	53

・妊婦にやさしい環境づくり事業（ﾏﾀﾆﾃｨﾏｰｸｽﾄﾗｯﾌﾟ）

区　　分	配布数
R7 年度	376
R6 年度	378
比　較	△2

・妊産婦健康診査通院費の助成

区分	交付数	助成回数
R7 年度	355	4,558
R6 年度	372	4,783
比　較	△17	△225

・えにわっこ応援センター母子保健（来所・電話相談）

区　分	相談件数		
	来所	電話	計
R7 年度	112	135	247
R6 年度	134	130	264
比　較	△22	5	△17

・妊婦等包括相談支援

区　　分	妊娠期			産後期
	妊娠届時	妊娠後期	プレママ相談	
R7 年度	406	9	29	335
R6 年度	425	14	17	360
比　較	△19	△5	12	△25

・母子保健事業

区　分	乳児家庭全戸訪問	養育支援家庭訪問		乳幼児相談日		妊婦教室		両親教室	
	訪問世帯数	実数	延世帯数	回数	人数	回数	人数	回数	人数(組)
R7 年度	335	80	142	12	284	8	52	4	69
R6 年度	360	45	85	12	290	8	34	4	63
比　較	△25	35	57	0	△6	0	18	0	6

区　分	育児教室		子育て講話		５歳児相談	
	回数	人数(組)	回数	人数	回数	人数
R7 年度	6	57	8	169	4	21
R6 年度	6	57	5	57	4	21
比　較	0	0	3	112	0	0

・乳幼児健康診査事業等の実施

（乳児健診）

区　分	受診者数	要精検	要観察
R7 年度	735	14	174
R6 年度	734	24	193
比　較	1	△10	△19

（先天性股関節脱臼検診）

区　分	受診者数	有所見	要治療
R7 年度	322	4	0
R6 年度	349	6	1
比　較	△27	△2	△1

（新生児聴覚検査）

区　分	受診者数	要精検
R7 年度	339	1
R6 年度	360	1
比　較	△21	0

（１か月児健診）

区　分	受診者数	要支援	要治療
R7 年度	308	3	4
R6 年度	279	2	6
比　較	29	1	△2

（１歳６か月児健診）

区　分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R7 年度	367	8	93	367
R6 年度	386	3	122	386
比　較	△19	5	△29	△19

（３歳児健診）

区　分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R7 年度	468	69	100	466
R6 年度	473	76	133	472
比　較	△5	△7	△33	△6

・特定健診・脳ドック等各種検診事業（P.200～201・215～216）

（国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況）

区　分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	2,778	30,756	122	1,922	2,900	32,678
R6 年度	2,761	29,661	187	2,969	2,948	32,630
比　較	17	1,095	△65	△1,047	△48	48

（後期高齢者医療健康診査・脳ドック・歯科健診の状況）

区　分	健康診査		脳ドック		歯科健診		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	1,701	20,625	229	3,617	178	828	2,108	25,070
R6 年度	1,548	17,299	126	2,012	183	841	1,857	20,152
比　較	153	3,326	103	1,605	△5	△13	251	4,918

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため国民健康保険の保健事業、介護予防事業と一体的に高齢者の保健事業に取り組みました。

・ハイリスクの高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

区　分	生活習慣病重症化予防		低栄養・フレイル予防		健康状態不明者家庭訪問	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R7 年度	92	110	82	93	19	23
R6 年度	85	112	57	69	27	37
比　較	7	△2	25	24	△8	△14

・通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

前年度に引き続き、

① 保健師や栄養士、歯科衛生士によるフレイル・低栄養・オーラルフレイル予防に関する講話

② フレイル予防を目的とした高齢者健康づくり教室（プレミアム健康度チェック）

③ 年度内に７５歳に到達する人を対象に、後期高齢者医療制度の説明やフレイル予防を目的とした健康講話、身体測定等を行う「えにわウェルカム７５」事業

を実施しました。

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実（P.117）

（市民スポーツ交流機会の開催状況）　（単位：人）

大　会　名	開催日	会　場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	10 月 4 日	はなふる、漁川河川敷	652
少年少女ミニバレー大会	12 月 14 日	総合体育館	81
恵庭クロスカントリースキー大会	2 月 15 日	畜産共進会場	412
市民スポーツ大会（15 大会）	通年	市内体育施設他	2,353
合　計	－	－	3,498

・各種スポーツ機会の提供（P.117）

（スポーツ教室・講習会等の開催状況）　（単位：人）

事　業　名	期間／回数	会　場	参加人数
フィットネスエクササイズ※	通　年　45 回	総合体育館	1,395
各種スポーツ実技指導※	通　年 288 回	総合体育館他	8,421
スポーツ少年団スポーツテスト会	8 月 5 日・1 月 17 日	総合体育館	333
合　計	－	－	10,149

※指定管理者委託事業

・スポーツ団体の育成・強化（P.118）

1） 市内スポーツ団体の会員登録状況　　（単位：団体、人）

区　　分	スポーツ協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
R7 年度	22	1,795	31	1,065
R6 年度	22	1,886	32	1,078
比　　較	0	△91	△1	△13

2） スポーツ振興基金運用事業（大会出場者／団体への補助金）　　（単位：人、団体）

区　　分	対象者		種　　目
	個 人	団 体	
国際大会	1	1	スキー、アイスホッケー
全国大会	27	25	卓球、野球、陸上、体操、バドミントン、空手、剣道、その他
高校総体	1	5	陸上、体操、柔道、空手、ラグビー
高校選抜	0	0	
国民体育大会	2	1	陸上、ソフトボール、ゴルフ
全道大会	2	37	卓球、野球、陸上、バレーボール、バスケットボール、その他
合　　計	33	69	

・屋内体育施設の整備充実（P.117～118）

1） 屋内体育施設の維持補修事業　　１，９１３千円

・福住屋内運動広場暖房設備修理工事
・総合体育館ラインポンプ交換工事
・総合体育館エレベータインバータユニット交換工事
・島松体育館遠赤外線放射暖房機修理
・島松体育館塩ビ製雨水桝補修工事

2） 学校開放事業の利用状況　　（単位：団体、人）

区　　分	R7 年度	R6 年度	比　　較
利用団体数	123	123	0
利用者数	36,622	38,349	△1,727

3） 屋内スポーツ施設等利用状況　　（単位：人）

区　　分	R7 年度		R6 年度		比　　較
	個 人	団 体	個 人	団 体	
総合体育館	93,842	50,902	93,632	50,170	942
島松体育館	9,531	27,776	9,919	26,297	1,091
福住屋内運動広場	3,127	17,909	3,192	19,596	△1,752
合　　計		203,087		202,806	281

※団体の利用状況に大会を含む

・**屋外体育施設の整備充実**（P.118～119）

1） 屋外体育施設の維持補修事業　　３３０，０６８千円

・島松水泳プール建替工事
・中央パークゴルフ場草刈り機修繕
・恵み野中央公園野球場フェンス補修工事
・中島公園テニスコート人工芝補修
・島松小学校遊具移設工事
・市民スケート場投光器交換工事
・市民スキー場井戸ポンプ修理工事

2） 市民水泳プール利用状況　　（単位：人）

区　　分	R7 年度	R6 年度	比　較
恵庭水泳プール	4,714	5,644	△930
和光水泳プール	8,977	6,984	1,993
若草水泳プール	5,097	6,219	△1,122
恵み野水泳プール(恵み野旭小)	4,403	5,526	△1,123
合　　計	23,191	24,373	△1,182

3） 恵庭南高校水泳プール利用状況

区　　分	R7 年度	R6 年度	比　較
利用者数	153	155	△2

4)屋外スポーツ施設利用状況　　（単位：人）

区　　分	R7 年度	R6 年度	比　較
恵庭公園野球場	9,423	11,750	△2,327
恵み野中央公園野球場	6,762	5,642	1,120
かしわ公園野球場	2,302	2,644	△342
恵庭公園庭球場	10,832	8,443	2,389
恵み野中央公園庭球場	6,644	6,610	34
中島公園庭球場	8,636	8,551	85
ふるさと公園庭球場	773	1,023	△250
めぐみの森公園庭球場	37	114	△77
あやめ緑地公園庭球場	93	117	△24
恵庭公園陸上グラウンド	6,255	4,750	1,505
恵庭公園球技場	20,704	19,350	1,354
島松屋外運動場	9,357	8,258	1,099
市民スケート場(夏期)	929	2,210	△1,281
市民スキー場(夏期)	1,290	400	890
市民スケート場(冬期)	7,424	7,327	97
市民スキー場(冬期)	10,387	4,298	6,089
島松スケート場(冬期)	5,090	5,858	△768
恵庭中央パークゴルフ場	19,877	20,002	△125
漁川カワセミパークゴルフ場	6,038	6,815	△777
漁川アイリスパークゴルフ場	4,935	5,164	△229
島松パークゴルフ場	1,904	2,281	△377
北栄会館パークゴルフ場	248	344	△96
合　　計	139,940	131,951	7,989

目標０９　持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持（P.111）

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。また、市民が２４時間医療相談を受ける機能として、救急安心センターさっぽろ事業に加入しました。

・休日・夜間診療事業

区　　分	休　　日		土 曜 日		夜　　間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
R7 年度	67	517	50	130	359	782	1,429
R6 年度	66	549	50	188	359	877	1,614
比　較	1	△32	0	△58	0	△95	△185

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所１か所、救急告示病院３か所、消防署１か所

・救急安心センターさっぽろ事業（P.113）

区　分	医療機関案内	救急医療相談	その他	合計
R7 年度	95	343	34	472

※令和７年１０月１日より開始

●地域包括ケアシステムの発展（P.89・235～236・241～243）

・高齢者の状況

区　　分	令和８年３月末	令和７年３月末
総 人 口	69,945 人	70,125 人
高齢者数	20,346 人	20,227 人
高齢化率	29.1 %	28.8 %

・審査会の状況

区　　分	R7 年度	R6 年度
審査会回数	61 回	58 回
審査件数	2,228	2,318
審査件数/回	37 件	40 件

・要介護認定等の状況（第１号被保険者）

認定者数（令和８年３月末）

区　分	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
人　数	699	593	847	509	348	352	221	3,569

・介護保険サービスの利用状況（第１号被保険者）

居宅サービス受給者数（令和８年３月審査分）

区　分	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
人　数	324	362	618	386	191	119	62	2,062

施設サービス受給者数（令和８年３月審査分）

区　分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	計
人　数	100	198	13	311

地域密着型サービス受給者数（令和８年３月審査分）

区　分	地域密着型サービス
人　数	560

・第１号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割　合
第１段階	11,500	3,470	17.3
第２段階	17,200	1,946	9.7
第３段階	31,600	1,519	7.5
第４段階	48,900	2,009	10.0
第５段階	57,600	2,710	13.5
第６段階	72,000	2,063	10.3
第７段階	74,800	3,603	17.9

所得段階	保険料(円)	被保険者数	割　合
第８段階	86,400	1,496	7.4
第９段階	100,800	631	3.1
第１０段階	106,500	280	1.4
第１１段階	120,900	102	0.5
第１２段階	132,400	62	0.3
第１３段階	138,200	214	1.1
計		20,105	100

・保険料の収納状況

	R7 年度	R6 年度
収納率	99.86%	99.80%

・保険料の減免状況

人数	減免額
3	52,700 円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置（利用者負担のうち１／４を軽減）

対象者数　　５４人　　経費　２，００６千円

・高齢者相談支援事業

区　分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	862	1,114

・地域包括支援センターの設置

（高齢者相談事業）

区　分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者(一般)	242	1,186	269	1,214	186	987	228	994	925	4,381
総合事業対象者	43	277	48	541	40	619	25	343	156	1,780
要支援者	330	3,635	349	5,063	188	3,449	243	4,376	1,110	16,523
要介護者	79	713	60	506	47	612	71	512	257	2,343
障がい者	9	132	0	1	0	1	0	0	9	134
その他	1	18	4	22	0	3	0	0	5	43
合　計	704	5,961	730	7,347	461	5,671	567	6,225	2,462	25,204

（指定介護予防支援事業）

区　　分	みなみ包括	ひがし包括	きた包括	中島・恵み野包括	計
要支援認定者（契約者） 介護予防支援数（実人数）	233	268	156	177	834
要支援認定者（契約者） 介護予防支援数（延人数）	3,057	4,617	3,051	4,056	14,781
予防給付請求件数	1,860	2,367	2,392	2,104	8,723

・福祉サービスの推進

事　業　名	利用者数	年間利用数
配食サービス事業	233 人	40,232 食
外出支援サービス事業	158 人	3,044 回
訪問理美容サービス事業	33 人	100 回
除雪サービス事業	477 世帯	6,030 回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

・緊急通報システム端末機貸与事業　　年度末設置台数２４２台

・有償サービス事業（なんもだよ）　　利用者数　８５人　利用回数　２７３回

・地域支援事業（任意事業）の実施

事　業　名	実　　施　　概　　要
家族介護者交流事業	合同交流：開催回数４回　参加者数４９人
認知症地域支援普及事業	認知症サポーター養成講座　開催回数：１７回、受講人数：９６０人
介護支援専門員支援事業	利用件数　２６件
成年後見制度利用支援事業	利用件数　１０件　市長申立２件

●医療費の助成

・重度障がい者医療費の助成（P.96）

（受給者数）

区　分	身障者	３級外部	知的障がい者	精神障がい者	合　　計
R7 年度	985	230	192	25	1,432
R6 年度	1,009	242	189	21	1,461
比　較	△24	△12	3	4	△29

（助成金額）　道補助対象分

区　　分	入　　院		入　院　外		合　　計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	1,361	25,247	24,236	64,211	25,597	89,458
R6 年度	1,320	24,031	25,003	62,799	26,323	86,830
比　較	41	1,216	△767	1,412	△726	2,628

（助成金額）　市単独分

区　　分	入　　院		入　院　外		合　　計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	175	3,588	4,566	8,576	4,741	12,164
R6 年度	253	4,667	4,838	8,310	5,091	12,977
比　較	△78	△1,079	△272	266	△350	△813

（助成金額）合計

区　　分	入　　院		入　院　外		合　　計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	1,536	28,835	28,802	72,787	30,338	101,622
R6 年度	1,573	28,698	29,841	71,109	31,414	99,807
比　較	△37	137	△1,039	1,678	△1,076	1,815

・子ども医療費の助成（P.99）

（受給者数）

区　分	0～2歳児	3～6歳児	小学生	中学生	高校生	合　　計
R7 年度	1,002	1,721	2,969	1,493	46	7,231
R6 年度	1,079	1,747	3,059	45		5,930
比　較	△77	△26	△90	1,448		1,301

※令和７年４月より中学生の通院・高校生年代の入院の助成を開始

※令和４年４月より小学４～６年生の通院助成を開始

（助成金額）

区　分	入院（未就学児）		入院外（未就学児）		入院（小学生）		通院（小学生）	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	435	15,909	48,333	62,169	64	2,110	37,554	48,547
うち道補助対象分	435	13,493	48,333	48,101	64	2,110	－	－
うち市単独分(一部)	(93)	2,416	(24,057)	14,068	－	－	－	－
うち市単独分(全部)	－	－	－	－	－	－	37,554	48,547
R6 年度	446	16,962	54,959	67,814	64	2,090	41,555	52,907
比　較	△11	△1,053	△6,626	△5,645	0	20	△4,001	△4,360

区　分	入院（中学生）		通院（中学生）		入院（高校生）		合　　計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	39	1,220	11,891	17,070	22	656	98,338	147,681
うち道補助対象分	－	－	－	－	－	－	48,832	63,704
うち市単独分(一部)	－	－	－	－	－	－	(24,150)	16,484
うち市単独分(全部)	39	1,220	－	－	－	－	37,593	49,767
R6 年度	23	890	－	－	－	－	97,047	140,663
比　較	16	330	－	－	－	－	1,291	7,018

※令和７年４月より中学生の通院・高校生年代の入院の助成を開始

※令和４年４月より小学４～６年生の通院助成を開始

（未熟児養育医療費助成）

区　　分	実人数（人）			件数（件）			助成金額（千円）		
	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計
R7 年度	23	19	42	45	43	88	3,955	822	4,777
R6 年度	37	29	66	56	51	107	5,447	1,040	6,487
比　較	△14	△10	△24	△11	△8	△19	△1,492	△218	△1,710

・ひとり親家庭等医療費の助成（P.86～87）

（受給者数）

区　分	親	子	計
R7 年度	681	1,028	1,709
R6 年度	744	1,112	1,856
比　較	△63	△84	△147

（助成金額）

〔親〕　（道補助対象分）　（市単独分）

区　分	入　院		入　院　外		合　計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	54	2,261	9,863	21,537	9,917	23,798
R6 年度	42	1,693	10,418	22,528	10,460	24,221
比　較	12	568	△555	△991	△543	△423

〔子〕　（道補助対象分）　（市一部負担分含む）

区　分	入　院		入　院　外		合　計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	63	2,513	10,667	18,425	10,730	20,938
R6 年度	46	2,471	11,765	19,653	11,811	22,124
比　較	17	42	△1,098	△1,228	△1,081	△1,186

〔合計〕

区　分	入　院		入　院　外		合　計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R7 年度	117	4,774	20,530	39,962	20,647	44,736
R6 年度	88	4,164	22,183	42,181	22,271	46,345
比　較	29	610	△1,653	△2,219	△1,624	△1,609

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国民健康保険

（加入状況）

区　分	世　帯　数		被保険者数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
R7 年度	7,699	21.09	10,706	15.31
R6 年度	7,868	21.77	11,125	15.86
比　較	△169	△0.68	△419	△0.55

（収支状況）

区　分	歳入総額（千円）	歳出総額（千円）	差引（千円）
R7 年度	6,348,120	6,345,042	3,078
R6 年度	6,418,816	6,381,006	37,810
比　較	△70,696	△35,964	△34,732
増加率%	△1.10	△0.56	

（診療費の状況）

区　　分	件　　数	受診率%	費　　用　　額		
			金額（千円）	１件当り（円）	１人当り（円）
R7 年度	183,825	1,717.03	5,124,044	27,875	478,614
R6 年度	122,614	1,102.15	4,075,175	33,236	366,308
比　較	61,211	614.88	1,048,869	△5,361	112,306
増加率%	49.92		25.74	△16.13	30.66

・後期高齢者医療

（加入状況）

区　　分	被　保　険　者　数	
	年平均	対市全人口%
R7 年度	11,316	16.12
R6 年度	10,951	15.56
比　較	365	0.56

（収支状況）

区分	歳入総額（千円）	歳出総額（千円）	差引（千円）
R7 年度	1,362,477	1,338,830	23,647
R6 年度	1,253,253	1,230,724	22,529
比　較	109,224	108,106	1,118
増加率%	8.72	8.78	

基本目標Ⅲ　希望と活力に満ちたまち

目標１０　いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ（職種や就業形態）を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を実施しました。

●企業誘致活動の実施

民間が所有する工業団地内の未操業地や工業団地外の空きテナント等について、仲介・斡旋を継続的に行うことなどの誘致活動を進めた結果、５社（新規立地４社）の立地が決定しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進・人材確保事業（P.124）　　**７，７６４千円**

求職者の就職支援を目的とした合同企業説明会を実施したほか、企業採用担当者向けに主婦層、シニア層の活用・採用方法や活用事例等について学べるセミナーを開催し、市内企業の人手不足に対する支援を行いました。また、市内に住む労働者の他市町村への労働力流出を防ぐことを目的に、広報媒体による市内企業の働く場としての魅力発信を行いました。さらに、就労支援や経済的自立の促進、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消を目的に、女性のデジタルスキル習得を支援しました。

１．就職促進事業

（１）合同企業就職説明会（パート・アルバイト向け）　９月１９、２０日
　　参加者８２名　参加企業３０社

（２）合同企業就職説明会（正社員向け）　９月１９、２０日
　　参加者５０名　参加企業２８社
　　上記（１）、（２）による就職決定者２３名

２．採用力向上支援事業
　　企業採用担当者向けセミナー　８月２１日
　　受講企業３８社

３．企業情報発信事業
　　広報媒体による周知
　　掲載企業５７社、求人雑誌・情報発信ＷＥＢサイトへの掲載

４．女性デジタル人材育成事業
　　女性デジタル人材育成講座　８月１８日～１０月３０日（週１回開催）
　　参加者２０名　就職決定者３名

・求職・労働相談（P.124）　　**９６９千円**

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、地域職業相談室を運営することで求人情報の把握や市民に対する求人情報の発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の冬期間の生活安定を図ることを目的として通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年　度	ジョブガイド恵庭（ふるさとハローワーク）				恵庭市相談室	
	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
R7 年度	2,936	520	786	257	12	2
R6 年度	2,847	517	851	272	16	2
比　較	89	3	△65	△15	△4	0

通年雇用促進支援事業の状況

事　業　名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	40 社	40 社	3 人	2 人
②事業所向け経営支援講習事業	50 社	73 社	5 人	4 人
③人材確保育成助成金制度普及啓発事業	395 社	420 社	11 人	12 人
④求人企業情報提供事業（企業ガイドブック Web 版掲載）	988 社	954 社	10 人	13 人
⑤事業所向け調査研究事業	970 社	1,077 社	－	－
⑥事業所向けドローン関連業務委託事業	30 社	27 社	1 人	1 人
⑦通年雇用化支援講習業務委託事業	35 人	28 人	1 人	2 人
⑧建設技能資格取得業務委託事業	17 人	13 人	3 人	4 人
⑨施設管理技能資格取得業務委託事業	6 人	0 人	1 人	0 人
⑩介護関連資格取得業務委託事業	4 人	2 人	1 人	0 人
⑪季節労働者向けドローン関連業務委託事業	30 人	27 人	1 人	1 人
⑫商業・サービス業技能講習事業	27 人	27 人	1 人	3 人
⑬合同企業就職説明会事業	21 人	17 人	2 人	0 人
⑭季節労働者通年雇用化情報提供事業	1,200 人	1,227 人	7 人	4 人
⑮季節労働者資格取得支援事業	6 人	2 人	1 人	2 人
⑯季節労働者調査研究事業	800 人	694 人	－	－
⑰建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	11 人	10 人	1 人	2 人
⑱季節労働者相談事業	60 人	66 人	1 人	0 人
合　　計	4,690 件	4,704 件	50 人	46 人
目標達成率	100.3%		92.0%	

※⑮⑰の通年雇用化勤務決定者（実績）については、⑧と重複しているため合計は 46 人とした

・シルバー人材センター事業支援（P.124）　　１５，６５０千円

高年齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図り、高年齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

年　度	公　共　事　業		そ　の　他		合　　計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
R7 年度	282	101,821	2,333	145,661	2,615	247,482
R6 年度	284	88,388	2,476	152,207	2,760	240,595
比　較	△2	13,433	△143	△6,546	△145	6,887

目標１１　恵まれた土地を生かした農林業

農地・農業用排水施設の整備や水利施設の保全管理の推進、農業の多様な担い手の育成により、経営基盤の強化を図り、農畜産物の生産体制の継続と発展に努めました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備や排水路および関連施設の適切な維持管理を行い、地域共同の取組による環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

・排水路管理事業（P.129）　４，０４３千円

排水路床ざらい、維持補修工事

・内水排除施設管理事業（P.130）　３３，９００千円

排水機場管理事業（北島、西４線、中島松、漁太、漁太川排水機場）
釜加地区内水排水機場管理費負担金（南１８号・南２１号排水機場）

・国営かんがい排水事業（P.130）　８，９３９千円

国営土地改良事業地元負担金（北島地区）

・多面的機能支払交付金事業（P.130）　９３，０１９千円

農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金

・国営造成施設（揚水機場）管理事業（P.130）　５４，８０６千円

揚水機場管理事業（千歳川第１・第２揚水機場）

・道営水利施設等保全高度化事業（P.131）　７１７千円

道営土地改良事業（中島松地区）負担金

・農業水路等長寿命化・防災減災事業（P.131）　４，１８０千円

排水路改修工事（基線）

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。
また、経営管理能力の向上や新たな担い手の育成などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を支援し、子どもが木に親しみを持てる土壌づくりを推進しました。

・木育ファーストトイ事業（P.127）　５，５４５千円

乳幼児に地域の木材を使用したドーナツ型の木のおもちゃ（森の輪）と積み木を配布
配布実績　３４４人

・農業後継者対策費（P.127）　２１０千円

農業研修派遣事業　実績１４名（青年農業者道外研修２名、女性農業者道内研修１２名）

・農業者支援資金利子補給事業（P.127）　２０８千円

スーパーＬ資金に係る利子補給（９件）

・農業振興対策事業（P.127）　　１７７，５９５千円

ジャガイモシストセンチュウ対策（１０件　作付面積３，０３０ａ）、
経営所得安定対策推進事業、外国人技能実習生等受入サポート事業（４件）、
スマート農業推進事業（３７件）、農地利用効率化等支援事業（３件）、
農業振興イベント支援事業（１件）、畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業（３件）
麦・大豆生産技術向上事業（３件）、土地改良区決済金等支援事業（４１件）

・環境保全型農業直接支払交付金事業（P.128）　　２，３４７千円

環境保全型農業への取り組み支援（８件　対象面積５，４２５ａ）

・畜産振興事業（P.128）　　２，４３５千円

酪農経営改善事業（１１件）、家畜自衛防疫事業（２４件、消毒回数５回）、
酪農ヘルパー推進事業（１０件）

・市営牧場管理事業（P.129）　　２１，２７２千円

酪農事業の発展および飼料基盤確保のため、若牛の集団育成を実施
（運営期間：５月２１日～１０月１７日　受入頭数：１８６頭）

●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

・恵庭市農商工等連携推進ネットワーク（P.133）

市内の企業・団体等が参画して設立した「恵庭市農商工等連携推進ネットワーク」の活動に加え、友好都市協定を結んだ藤枝市と設立した連携推進ネットワークにより、それぞれの特徴を生かした産業振興や農畜産物の販路開拓に取り組みました。

会員数　　１１５会員

（１）交流促進事業
- 定期会議（書面開催）　９月１２日
- 勉強会・相談会　　３月１７日　参加者２６人

（２）販路拡大事業
北海道産品取引商談会（札幌会場）　出展者１者

（３）情報発信事業
メールニュース４５回
農商工等連携商品を掲載したパンフレット「えにわづくり」を、アンテナショップＥｎｉｍａｒｃｈｅ（エニマルシェ）や観光協会などに配架することや、市内外イベントで配布することで、会員商品のＰＲ及び認知度向上を図りました。

（４）新商品開発支援事業
勉強会において、商品開発や販路拡大を目的とした食の専門家との個別商談会を実施

（５）藤枝市との連携事業
- 事業者間の交流（産業祭への出展）
  - 産業フェスタｉｎふじえだ（１１月８日）恵庭市から２者
  - えにわん産業祭２０２５（９月６日）藤枝市から１者
- 商品開発補助金（両市の農畜産物を活用した商品開発への補助金）
  - 補助金交付件数　０件
- 試作支援（両市の農畜産物を活用した新商品創出に向けた研究・開発に係る試作用の材料費等の支援）
  - 恵庭市　２者２商品の新商品開発
  - 藤枝市　１者１商品の新商品開発

・えにわん産業祭２０２５

産業祭では、地元の農畜産物や市内の食品加工製造業の展示・販売を通じて恵庭の魅力をＰＲし、藤枝市からも事業者が出展し、交流及び情報交換を実施しました。

主な出展コーナー

【市内企業団体の出展・特産品販売】【ワークショップストリート】【はたらく車大集合】

【フードマーケット】【パン・スイーツマルシェ】

開催日：９月６日

来場者数約１２，０００人　出展企業・団体数３９

目標１２　暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業（P.133）　　１，４４９千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

商店街活力再生促進事業補助金

- 恵み野商店会　　：恵み野商店街活力再生促進事業
- 恵み野やすらぎストリート：第１４回やすらぎストリートであ・そ・ぼ！！事業
- 花さんぽストリート　　：恵み野花さんぽストリートにぎわい創出環境整備事業
- 恵庭駅通商店街振興組合　：エニマルシェにぎわい創出事業
- 恵み野黄金中島通花部会　：恵み野黄金中島通花部会にぎわい創出花壇整備事業

・起業家支援事業（P.132）　　４，６０１千円

市内で新たに起業する事業者に対する新規出店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し、事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナー「恵庭起業塾」や専門家による個別相談会を開催しました。

●第３期恵庭市中小企業振興基本計画の策定

中小企業を地域経済と雇用の主要な担い手として位置づけ、その振興を図るため、市、企業、関係団体及び市民が連携・共同して取り組むための指針として、「恵庭市中小企業振興基本計画」を策定しています。令和７年度に第２期の計画期間が終了することを受け、改めて昨今の社会環境の変化を踏まえ、中小企業振興に係る方針を取りまとめた第３期の基本計画を策定しました。

- 中小企業振興審議会基本計画推進管理専門部会　１回開催（７月２５日）
- 中小企業振興審議会　２回開催（１１月１９日、２月４日）
- 中小企業振興基本計画改定支援業務委託

●金融対策事業（P.132・134）

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている事業者に対し、事業継続のための円滑な資金繰りを支援するため、融資に係る利子や信用保証料の補給を行いました。

- 新規利子補給　　：１１件　５５０千円
- 信用保証料補給　　：９３件　２５，９４７千円
- 中小企業振興融資預託金：３４２，４１５千円

●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業（P.135）　　２１０千円

市民や各団体が垣根を越えて協力し、多くの人が楽しく、幸せになる恵庭らしいマルシェを開催することにより、まちの活性化、市内経済の振興を図りました。花とくらし展での出前マルシェでは、例年よりも出店区画を拡充して展開したことで、多くの来場者にえにわマルシェを広く周知する好機となりました。

・えにわマルシェ本開催（夏）
会　場　：　グリーンベルト
開催日　：　７月２６日
出店数　：　１０店舗

・えにわマルシェ本開催（秋）
会　場　：　フレスポ恵み野
開催日　：　１０月２６日
出店数　：　１３店舗

・えにわマルシェ本開催（冬）
会　場　：　花の拠点（はなふる）
開催日　：　２月７日
出店数　：　１６店舗

・プチマルシェ
①会　場　：　道と川の駅「花ロードえにわ」
開催日　：　５月３日～１０月２５日（計５０日間）
出店数　：　延１４７店
②会　場　：　フレスポ恵み野
開催日　：　１２月１４日・２月２２日（計２日間）
出店数　：　延２２店舗

・出前マルシェ（花とくらし展）
会　場　：　花の拠点（はなふる）
開催日　：　６月２８日～６月２９日（２日間）
出店数　：　延１９店舗

・出張マルシェ
会　場　：　花の拠点（はなふる）
開催日　：　１０月２５日
出店数　：　９店

目標１３　来てみたいまち　住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭渓谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

令和７年度をもって計画期間が終了する第２期恵庭市観光振興計画の後継となる「第３期恵庭市観光振興計画（令和８～１７年度)」を恵庭市観光推進協議会での協議、パブリックコメント等を経て、令和８年３月に策定しました。

また、盤尻地区の観光まちづくりを推進するため、事業者向けモニターツアーを実施し、地域資源（漁川ダム、ＴＣＳキャンパーズエリア、えこりん村等）を実際に体験してもらうことで、民間事業者の参入促進と新たな観光コンテンツ造成の可能性を検証しました。

恵庭市の観光資源である「恵庭渓谷」「花のまち」の両面で観光コンテンツ造成と情報発信を継続し、観光協会との連携による誘客プロモーションを実施しました。

・事業者向けモニターツアー（参加事業者数：９者）
・緑のふるさと森林公園クイズラリーイベント（毎週土曜日、実績１１５件）
・緑のふるさと森林公園木のメダル工作体験（５月５日・６日及び毎週日曜日、実績７５件）
・緑のふるさと森林公園森のスツール製作体験（７月２６日・２７日、実績１件）
・緑のふるさと森林公園ふれあい乗馬体験（８月２３日、実績６４件）
・観光パンフレット「旅するえにわ」改訂・増刷（日本語版１２，０００部、英語版３，０００部、繁体字版３，０００部、韓国語版１，０００部）
・観光情報誌広告出稿　（Ｏ．ｔｏｎｅ７／１５発売号、ＪＰ０１夏特別号、こどもパスポート２０２５いしかり～南そらち）
・ＰＲブース出展（１月２７日・２８日ＪＰ０１まつりｉｎチカホ、６月２１日・２２日藤枝市、９月２日札幌駅どさんこプラザ）
・令和７年度観光入込客数１，７２２，４３７人

・市内消費拡大事業（P.134）　　３，３２９千円

花の拠点（はなふる）を中心に市内の飲食店や観光スポットを訪れてもらうことを目的とした市内周遊プラン「はなたび恵庭」や恵庭市観光デジタルマップ「はなたびマップ」のＰＲを実施したほか、はなふる内宿泊施設から市内飲食店等への移動に使用できるタクシー利用券「はなたびタクシー利用券」を発行し、宿泊施設利用者の市内周遊促進・消費促進を図りました。

・「はなたびマップ」閲覧回数　９，７３５回（はなたびマップ内のスポット閲覧数）
・「はなたび恵庭」Ｉｎｓｔａｇｒａｍ広告インプレッション（表示）回数　８０５，４０３回
・はなたびタクシー利用券　利用枚数　３，１７４枚

・恵庭花のまちづくり推進会議事業（P.136）　　６，２３４千円

平成３０年に策定した新・花のまちづくりプランでは「美しいまちで暮らそう」を目標としました。「美しい環境がある」「美しい人々がいる」の２つのテーマのもと市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を生かした環境作りに取り組みました。

（１）ガーデンフェスタ恵庭２０２５　第３６回恵庭花とくらし展
（２）花マップの配布
（３）花と緑のまちづくり講演会
（４）ＹｏｕＴｕｂｅ動画作成、はなふるＰＲ動画編集

・花と緑の記念日事業（P.137）　　１４７千円

ガーデンフェスタ北海道２０２２の開催後に、「ガーデンフェスタその後検討懇談会」にてなされた提言から、「(仮称) 花と緑の文化センター設立準備会」にて協議を行い、６月に「(仮称) 恵庭市花と緑の文化センター構想」を策定しました。

また、花のまちづくりの継続と周知を目的に、イベントの開催や啓発事業を行いました。

（１）ガーデンフェスタ恵庭２０２５　第３６回恵庭花とくらし展
　　６月２８日、２９日の２日間の開催。合計２万５千人を超える方々が来場。

（２）フラワーギフトキャンペーンの実施　７月１日～７月１５日
　　市内のフラワーショップ協力のもと、花を購入した方にキャンペーンを実施。

（３）花種の配布
　　花とくらし展においてフラワーギフトキャンペーンチラシと共に花種を配布。

（４）ガーデナー講習会（お庭の学校）　９月２日
　　花の拠点（はなふる）を設計した高野ランドスケープの村田氏と、花の拠点はなふるの景観管理に関し、ウォークスルー会議に参画いただいている山本氏を講師に開催。

・花の拠点整備事業（P.137）　　２３，５６２千円

・花の拠点センターハウス昇降機改修工事
・花の拠点はなふる舗装改修工事、木橋改修工事
・はなふる倉庫床増設工事
・枕木布設替工事

・花の拠点運営事業（P.136）　　１６６，５５６千円

指定管理者や花の拠点事業者との連携のもと、一層の誘客促進と利用者満足度向上に取り組みました。花の拠点はイベント会場として定着し、大小さまざまなイベントにより賑わいました。また、ＲＶパークの利用者数は、前年の１．２倍の増加となりました。

ボランティアグループによるガーデンエリアの継続的なメンテナンス活動を通じて良好な景観を維持するとともに市民との協働による花のまちづくりを推進しました。

・各施設入込数　花ロードえにわ　１，１３１，８０９人
　　農畜産物直売所　　３９６，９７４人
　　センターハウス　　２３７，４０１人
・イベント開催数　３７回

花の拠点運営関連歳入決算　　（単位：円）

歳　入　科　目	決　算　額
土地使用料（道と川の駅）	15,608
公園使用料（道と川の駅）	28,015,815
公園使用料（農産物直売所）	28,400,000
公園使用料（宿泊施設）	3,679,504
公園使用料（魅力向上事業エリア）	3,121,214
公園使用料（都市・地域再生等利用区域）	0
土地建物貸付収入	232,074
合計	63,464,215

・ふるさと納税推進事業（P.65）　　１，０４３，７４６千円

民間のふるさと納税サイトを新たに８サイト追加し、令和８年３月末現在３４サイトで寄附を募りました。返礼品の充実に努めるとともに、主要返礼品の配送日数の短縮、動画制作や雑誌・インターネットを活用した広告宣伝などに取り組みました。寄附は首都圏を中心に、広く全国から寄せられており、この事業を通して、さらに、恵庭の魅力発信や知名度の向上につながりました。

令和７年度ふるさと納税　９５，８５９件　　寄附総額　２，１５４，７２０千円
※ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附

●移住・定住の促進

・移住促進事業（P.65）　　４，８３０千円

移住・定住を促進するため、移住相談会への出展、オーダーメイドツアーの実施、移住・定住サイトにおけるＰＲ及び移住者向け冊子の発行、移住者交流会などを実施しました。また、流通空家を増やす取り組みとして、住み替えセミナーを実施しました。

・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス数：３３，９２６件
・移住イベントへのブース出展
　東京、大阪、仙台のイベントへ出展　合計相談数：２０９件
・オンライン移住相談　参加数：６組
・オーダーメイドツアー　参加数：２８組
・移住者交流会の実施　参加数：１９組４９名
・住み替えセミナーの開催　参加数：４６名
・恵庭ＵＩＪターン新規就業支援事業補助金　交付件数：０件（支給対象者なし）

●都市間交流の促進　（P.75）　　１，０２８千円

・姉妹都市和木町との交流事業

６月２７日～６月２９日　：和木町との相互交流（花とくらし展）
（和木町議会議員及び職員４名来恵）
１１月１日～１１月２日　：わき愛あいフェスティバルへの参加派遣
（恵庭市より職員３名派遣）

・友好都市藤枝市との交流事業

９月６日　：えにわん産業祭２０２５における藤枝市特産品販売
１１月８日　：産業フェスｉｎふじえだにおける出店交流事業
（市長・議長ほか２名）

・姉妹都市等交流促進事業補助金

第８回恵庭市長杯サッカー大会（来恵　１チーム）
第５２回藤枝ＪＣ杯争奪少年少女サッカー大会（訪問者　１３名）
友好都市提携１０周年記念事業　藤枝商工会議所とのスポーツ・経済交流会（訪問者　１２名）
恵庭市農商工連携広域ネットワークによる産業フェスｉｎふじえだの出店交流事業
（訪問者　１名）

基本目標Ⅳ　人が育ち文化育むまち

目標１４　地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討

子育てについての相談・指導などの各種支援に努め、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や子どもひろば事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠・出産から子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した支援を行いました。

・学童クラブ事業（P.103）　　**２８８，２２４千円**

令和７年度は全２０か所で学童クラブを運営しました。また、増加する学童クラブへの需要に対応するため、市内１か所の民間学童クラブへ運営費補助を継続実施しました。

また、学童クラブの利用要件を満たさない保護者が就労などの理由で家庭にいない児童に対し、小学校の長期休み期間中において学童クラブと同様な生活の場を提供する「長期休み学童預かり事業」を試行的に実施しました。

・学童クラブ受入状況（月平均）

区　分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	要加配児童	合計
R7年度	210	198	131	101	43	15	14	712
R6年度	238	185	167	107	39	12	15	763
比　較	△28	13	△36	△6	4	3	△1	△51

・学童クラブ在籍状況（年度末）

	児童数		児童数		児童数		児童数
恵庭	56	和光	50	若草	30	恵み野	45
恵庭第２	47	和光第２	65	若草第２	32	恵み野第２	18
恵庭第３	29	和光第３	39	若草第３	22	恵み野旭	17
柏	30	島松	49	若草第４	21	恵み野旭第２	15
柏第２	15	島松第２	31	松恵	25	恵み野旭第３	27

・子育て支援センター事業の充実（相談件数･利用者数）（P.102）

相　談　項　目	件数
しつけ（基本的生活習慣）	71
発達（言語、情緒、身体）	97
子どもの対人関係	19
親子・家庭関係	55
問合せ	176
合　計	418

年齢等	利用者数
保護者	10,448
0歳	2,934
1歳	3,746
2歳	2,521
3歳以上	3,235
合　計	22,884

※相談件数・利用者数は、柏陽、恵み野、島松、黄金、柏、恵庭の各支援センターの合計

・子どもひろば利用状況（P.103）

区　分		就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計
R7 年度	恵庭子どもひろば	586	5,730	404	234	917	7,871
	黄金子どもひろば	371	9,861	308	93	1,284	11,917
	島松子どもひろば	511	2,884	109	5	481	3,990
	恵み野子どもひろば	2,072	6,810	300	7	3,162	12,351
	若草っ子ひろば	－	1,823	－	－	－	1,823
	柏子どもひろば	396	3,188	532	55	914	5,085
	松恵子どもひろば	－	1,008	－	－	－	1,008
	総　計						44,045
R6 年度	恵庭子どもひろば	818	5,385	554	16	1,080	7,853
	黄金子どもひろば	345	10,776	360	27	909	12,417
	島松子どもひろば	148	3,409	402	9	186	4,154
	恵み野子どもひろば	1,955	5,866	205	10	3,072	11,108
	若草っ子ひろば	－	1,846	－	－	－	1,846
	柏子どもひろば	327	3,064	579	43	466	4,479
	松恵子どもひろば	－	1,356	－	－	－	1,356
	総　計						43,213
比較	恵庭子どもひろば	△232	345	△150	218	△163	18
	黄金子どもひろば	26	△915	△52	66	375	△500
	島松子どもひろば	363	△525	△293	△4	295	△164
	恵み野子どもひろば	117	944	95	△3	90	1,243
	若草っ子ひろば	－	△23	－	－	－	△23
	柏子どもひろば	69	124	△47	12	448	606
	松恵子どもひろば	－	△348	－	－	－	△348
	総　計						832

ランドセル来館利用状況

	R7 年度		R6 年度		比較	
	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数
恵庭子どもひろば	1	14	0	0	1	14
黄金子どもひろば	0	0	6	292	△6	△292
島松子どもひろば	0	0	0	0	0	0
柏子どもひろば	0	0	0	0	0	0
合　　計	1	14	6	292	△5	△278

・ファミリー・サポート・センター会員数／援助活動件数（P.104）

【基本の預かり】
- 依頼会員　８０５人
- 協力会員　１３９人
- 両方会員　　５０人

合 計　　９９４人

援　助　内　容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	179
学童保育の送迎、預かり等	22
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	307
保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	84
子どもの病気、習い事等の場合の援助	320
その他	191
合　計	1,103

【病児・病後児預かり】

・協力会員　　３６人

援　助　内　容	件数
病児・病後児の預かり	81
宿泊を伴う預かり	1
緊急度の高い預かり	3
送迎	0
（うち、医療機関の代理受診）	0
その他	0
合　計	85

【ひとり親減免】

援　助　内　容	件数
ひとり親減免制度（預かり）	60
ひとり親減免制度（送迎）	39
ひとり親減免制度（預かり・送迎）	18
合　計	117

※基本の預かりの内数

・児童手当（P.98）　　（単位：人・千円）

区分		第１子		第２子		第３子以降		合計	
		総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額
R7 年度	３歳未満	4,339	65,085	3,785	56,775	1,811	54,330	9,935	176,190
	３歳以上～中学生	31,379	313,790	20,264	202,640	8,425	252,750	60,068	769,180
	高校生	13,487	134,870	2,671	26,710	657	19,710	16,815	181,290
	小計	49,205	513,745	26,720	286,125	10,893	326,790	86,818	1,126,660
R6 年度	３歳未満	4,640	69,480	4,155	62,325	1,737	34,785	10,532	166,590
	３歳以上	31,459	314,590	20,258	202,580	7,049	146,990	58,766	664,160
	高校生	4,481	44,810	854	8,540	240	7,200	5,575	60,550
	特例給付	657	3,285	486	2,430	114	570	1,257	6,285
	小計	41,237	432,165	25,753	275,875	9,140	189,545	76,130	897,585
比　較		7,968	81,580	967	10,250	1,753	137,245	10,688	229,075

※３歳未満は月額15,000円、３歳以上は月額10,000円（～令和６年９月までは３歳以上小学校修了前（第３子）も月額15,000円）

※第３子～は月額30,000円（加算認定児）

・児童扶養手当（P.98）

区　分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計（人）	金額（千円）
R7 年度	292	235	133	660	313,646
R6 年度	329	244	123	696	306,809
比　較	△37	△9	10	△36	6,837

・出産・子育て応援給付金支給事業（P.106）

区　分	支給者数					
	妊婦			子		
		出産応援	妊婦の給付		子育て応援	妊婦の給付
R7 年度	408	－	408	384	62	322
R6 年度	378	378	－	379	379	－
比　較	30			5		

※妊婦、児童１人に各50,000円を支給

※令和８年度より妊婦のための支援給付事業に変更

・遺児手当（P.99）

区　分	就学児(15,000 円/年)		未就学児(12,000 円/年)		合　　計	
	総人員	金額（千円）	総人員	金額（千円）	総人員	金額（千円）
R7 年度	14	105	7	37	21	142
R6 年度	17	216	4	40	21	256
比　較	△3	△111	3	△3	0	△114

・施設入所面会旅費助成事業

区　分	申請世帯	金額（千円）
R7 年度	1	57
R6 年度	1	17
比　較	0	40

・入院助産措置状況

区　分	措置人員	金額（千円）
R7 年度	1	508
R6 年度	0	0
比　較	1	508

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区　分	短期利用事業			夜間養護等事業		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
R7 年度	4	29	166	0	0	0
R6 年度	7	111	535	0	0	0
比　較	△3	△82	△369	0	0	0

・子育て世帯訪問支援事業

区　分	世帯数	児童数	訪問回数
R7 年度	6	9	32
R6 年度	5	11	14
比較	1	△2	18

・家庭児童相談受付件数　　（実件数）

項目	養育相談		保健相談	障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚障がい	言語発達障がい等	重症心身障がい	知的障がい	発達障がい	ぐ犯行為等	触法行為等
R7 年度	129	131	3	0	0	2	1	85	6	5	1
R6 年度	112	81	1	0	0	3	0	109	2	3	1
比　較	17	50	2	0	0	△1	1	△24	4	2	0

項目	育成相談				その他の相談	合計
	性格行動	不登校	適性	育児・しつけ		
R7 年度	24	20	7	8	35	457
R6 年度	25	27	6	10	60	440
比　較	△1	△7	1	△2	△25	17

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談員　３名

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議１回　　実務者会議３回　　個別ケース検討会議１３回　　講演会１回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般								児童				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
R7 年度	3	14	13	47	7	1	0	250	4	5	0	0	3
R6 年度	1	4	10	52	4	0	0	232	8	0	0	1	2
比　較	2	10	3	△5	3	1	0	18	△4	5	0	△1	1

項目	経済的支援・生活援助							その他					合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向公営住宅	母子福祉施設の利用	母子生活支援施設	
R7 年度	271	0	2	316	8	0	34	0	0	0	0	0	978
R6 年度	238	0	0	347	3	0	4	0	0	0	0	0	906
比　較	33	0	2	△31	5	0	30	0	0	0	0	0	72

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業（P.99）

区　分	Web 関係	医療事務	介護技術	その他	合計
R7 年度	2	0	0	0	2
R6 年度	1	0	1	1	3
比　較	1	0	△1	△1	△1

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業（P.99）

区　分	美容師	保育士	准看護師	看護師	Web 関係	その他	合計	修了支援給付金※
R7 年度	2	0	1	1	3	1	8	2
R6 年度	1	0	0	2	4	2	9	3
比　較	1	0	1	△1	△1	△1	△1	△1

※養成課程が修了後１回支給

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

区　分	利用者数	金額（千円）
R7 年度	0	0
R6 年度	0	0

・ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業（P.99）

区　分	利用者数	利用回数	利用時間	金額（千円）
R7 年度	1	39	78	138
R6 年度	0	0	0	0
比　較	1	39	78	138

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況（P.99）

区　分		恵庭地区	柏地区	若草地区	恵み野地区	島松地区	合計
R7 年度	延利用者数(人)	360	495	409	559	393	2,216
	開設日数(日)	49	50	51	48	48	246
R6 年度	延利用者数(人)	419	496	539	485	587	2,526
	開設日数(日)	50	49	48	52	47	246
比　較	延利用者数(人)	△59	△1	△130	74	△194	△310
	開設日数(日)	△1	1	3	△4	1	0

●保育園、認定こども園における待機児童の解消

延長保育事業や休日保育事業、一時保育事業等を実施し、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を整備するなど、保育サービスの向上に努めました。

・延長保育事業

保育時間１８時１５分～１９時１５分

区　　分	実人数	延人数	開設日数
すみれ保育園	30	211	136
島松いちい保育園	61	937	253
恵み野幼稚園	35	193	104
ひまわり幼稚園	27	431	216
さくら	26	246	166
えほんの森	33	907	267
幼稚舎えるむ	29	811	240
えにわスマイル保育園	36	496	231
かしわ幼稚園	26	587	222
あいおい子ども園	21	358	182
島松幼稚園	6	82	72
北海道文教大学附属幼稚園	31	218	137
第二かしわ幼稚園	14	197	152
恵み野第二幼稚園	2	21	21
すえひろスマイル保育園	9	74	68
島松もみじ保育園	10	81	82
ぴっころきっず	24	793	234
合　　計	420	6,643	2,783

※短時間認定の時間外含む

・一時保育事業

対象児：１歳～就学前児

定　員：８名程度/日

保育時間：７時１５分～１８時１５分

区　　分	実人数	延人数	開設日数
すみれ保育園	30	578	207
島松いちい保育園	17	307	158
あいおい子ども園	36	980	249
えほんの森	14	227	149
合　　計	97	2,092	763

・保育所等入所児童数（２号・３号認定こども）　　（令和８年３月３１日現在）

区　　分	年齢別の入所児童数							定員	入所率
	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	計		
すみれ保育園	6	12	12	16	16	16	78	90	86.7%
島松いちい保育園	15	18	22	18	18	12	103	90	114.4%
恵み野幼稚園	8	17	14	18	18	15	90	86	104.7%
ひまわり幼稚園	6	16	9	15	15	7	68	90	75.6%
さくら	11	14	18	11	15	9	78	75	104.0%
えほんの森	9	15	15	14	13	11	77	75	102.7%
幼稚舎えるむ	11	18	14	13	8	13	77	69	111.6%
えにわスマイル保育園	9	13	11	13	12	5	63	60	105.0%
かしわ幼稚園	7	9	17	11	13	11	68	86	79.1%
あいおい子ども園	9	16	7	15	15	17	79	90	87.8%
恵庭幼稚園	8	12	10	16	23	17	86	80	107.5%
クラーク幼稚園	0	0	0	7	8	8	23	20	115.0%
島松幼稚園	0	0	0	6	7	5	18	20	90.0%
北海道文教大学附属幼稚園	10	16	12	17	21	15	91	90	101.1%
第二かしわ幼稚園	0	5	7	9	7	5	33	60	55.0%
恵み野第二幼稚園	0	10	6	8	8	5	37	51	72.5%
恵庭保育園	0	10	8	0	0	0	18	18	100.0%
すえひろスマイル保育園	9	4	4	0	0	0	17	19	89.5%
島松もみじ保育園	6	7	8	0	0	0	21	19	110.5%
ぴっころきっず	2	2	2	0	0	0	6	7	85.7%
合　　計	126	214	196	207	217	171	1,131	1,195	94.6%
うち、他市町村からの広域受入	1	2	0	0	1	0	4		
他市町村への広域入所	5	1	2	0	1	2	11		

・休日保育事業

定　　員　：１０名程度

開設時間　：８時～１８時

区　　分	実人数	延人数	開設日数
あいおい子ども園	6	75	49

・多子世帯保育料軽減支援事業（保育料一部無償化）

対象　３歳未満児（第２子以降）

区　分	実人数	延人数
R7 年度	257	2,261
R6 年度	264	2,505

・乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）　※令和７年１０月事業開始

対 象 児　：未就園の６か月～３歳未満のこども
定　　員　：事業所が設定
開設時間　：事業所が設定

区　　分	R7 年度		
	実人数	延人数	開設日数
すみれ保育園	1	13	13
クラーク幼稚園	7	171	32
すえひろスマイル保育園	3	24	24
さくら	0	0	0
合　　計	11	208	69

●保育士等の人材確保と質の向上

・保育士人材確保来策事業（P.106）　　３１，９５９千円

保育士の就労環境改善により、新規就労促進・離職防止を図ることで、保育受け入れ可能人数の確保を図りました。事業者が保育士用の宿舎を借上げるための費用の一部を支援する保育士宿舎借上げ支援事業補助金、清掃や給食の配膳、児童の園外活動や特に見守り等が必要な時間帯等の安全管理等、保育に係る周辺業務を行う保育士資格を有しない職員の配置を支援する保育体制強化事業補助金の運用を継続しました。

・保育士就労支援事業補助金
　交付対象事業者　７法人１２施設
　交付対象保育士　２５名

・保育士宿舎借上げ支援事業補助金
　交付対象事業者　６法人１２施設
　交付対象保育士　２８名

・保育体制強化事業補助金
　交付対象事業者　１０法人１７施設
　保育支援者　　１６名
　キッズガード　　１３名
　スポット支援員　１８名

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進

児童生徒等の思いやりの心やコミュニケーション力を育み、他者と良好な関係を構築する力を高めることを目的として、自分自身の生き方や人間関係について気付き学ぶ体験学習型の授業や講座を実施しました。

・児童生徒　ヒューマン・コミュニケーション授業

実施回数：若草小学校　延２回、柏陽中学校　延４回
対　　象：若草小学校５年生、６年生　１８８名、柏陽中学校１年生、２年生　１９６名

・教職員等　ヒューマン・コミュニケーション講座

実施回数：２回
対　　象：市内小中学校教職員等　９８名

目標１５　心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうるおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・宿泊体験事業又は日帰り体験事業

・日帰り体験事業
恵み野地区　参加人数：２７人　　お仕事体験
恵庭地区　　参加人数：　８人　　通学合宿

・恵庭子ども塾（P.174）

事業分類	延事業回数	延実施日数	延参加人数	内　容
ものづくり・実験教室	1	1	67 人	おもしろ理科実験教室
体験学習	2	2	20 人	食の体験ランド 小学生「映像クリエイタープロジェクト」
合　　計	3	3	87 人	

・青少年宿泊研修施設利用状況（P.174）

利 用 者 ：市内外の青少年団体（小学生、中学生および高校生の団体）
利用人数 ：６６７人（前年度研修施設利用人数　４１２人）

・青少年育成事業

少年の主張中学校大会	参加校５校（各校１人）
えにわっ子ジュニアセミナー	小学５年生～中学２年生　前期１０人　後期１１人
青　少　年　表　彰	青少年善行者表彰　１名 青少年団体活動者表彰（個人）２名 青少年団体活動者表彰（団体）１団体 優良勤労青少年表彰　１名
青少年育成事業補助金	昔遊びひろば　ブンブンコマを作ろう ＹＯＳＡＫＯＩソーラン体験！えにわっ子まつり 第１３回わくわくお仕事体験 北海道歴史舞台　絆花～中山久蔵翁物語～ 北海道恵庭南高等学校吹奏楽部第１３回定期演奏会

・コミュニティ・スクールの推進

市内全小中学校に設置されている学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の理解度を深め、地域住民・保護者・学校が一体となって子供たちの成長にかかわっていく体制づくりに努めました。
「恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふぇ！」　開催回数：２回　　延参加人数：７７人

・恵庭市はたちのつどい（P.173）

開催日　　：１月１１日
対象参加者数：４６１人

●読書活動による子どもの育成

ブックスタートで本と出合った乳児が成長するにしたがい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業（P.180）

ブックスタートパックを９～１０か月児健診を受診する親子に配布
・配布パック数：３９８個

・ブックスタートプラス事業（P.180）

絵本とガイドブックを１歳６か月児健診を受診する親子に配布
・配布パック数：３６４個

・私立幼稚園等図書環境整備支援（P.180）

・認定子ども園等　１８施設　４４５千円

・読み聞かせ活動の推進（P.180）

（おはなし広場開催状況）　（単位：回、人）

区分	開催回数	参加者数	１回平均参加者数
本館	58	391	6.7
恵庭	14	132	9.4
島松	24	110	4.6
計	96	633	6.6

・家読推進及び講演会事業

・家読講演会「こどもも親も一緒に楽しい！絵本でつながるコミュニケーション」
２月２１日　市立図書館視聴覚室　　参加者数：５８名

・小中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒　４７２人（小学校１６２人、中学校３１０人）
・作品点数　　４７２点（小学校１６２点、中学校３１０点）

・小・中学校学校司書の配置

・市内１３小・中学校に各１名配置（和光小　２名）

・小・中学校の図書の充実（P.164・167）

１）小学校学校図書館の現況　（単位：冊）

	R7 年度	R6 年度	増減
貸出冊数	188,879	192,850	△3,971
一人当貸出数	54.1	53.9	0.2
蔵書冊数	84,938	84,256	682
一人当蔵書数	24.3	23.5	0.8

２）中学校学校図書館の現況　（単位：冊）

	R7 年度	R6 年度	増減
貸出冊数	29,395	37,552	△8,157
一人当貸出数	15.9	19.8	△3.9
蔵書冊数	61,666	60,994	672
一人当蔵書数	33.3	32.2	1.1

※貸出冊数は電子図書を含む

目標１６　子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり（P.159）

（教育振興推進交付金事業内容）　　（単位：千円）

学　校　名	事　　業　　内　　訳	事業費 （補助額）
恵庭小学校	サケ飼育学習、総合学習、全校集会活動充実、児童登下校時安全対策、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	303 (303)
島松小学校	サケ飼育学習、学校課題取組推進、特別活動推進、総合学習、花いっぱい運動・栽培活動推進、学校支援地域本部事業	309 (309)
柏小学校	サケ飼育学習、いじめ・不登校対策研究等、教材園での栽培、校地内での体験活動、読書環境整備、児童の交通安全意識啓発、総合学習、ふれあい広場、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	307 (307)
和光小学校	サケ飼育学習、学年学級活動推進、わ・和・輪スクール、総合学習、水泳学習の充実、宿泊学習費用、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	350 (350)
松恵小学校	学校農園活動推進、体力づくり推進、基礎学力定着推進、総合学習、サケ飼育学習、集団づくりのための取組、情報図書館まつり、漢字力向上の取組、学校支援地域本部事業、学校花壇活動の推進	232 (232)
若草小学校	若草ふれあいスクール、総合学習の充実、児童会活動の充実、サケ飼育学習、教育環境整備、学校花壇の整備、学校支援地域本部事業	312 (312)
恵み野小学校	サケ飼育学習、校舎内外の教育環境整備、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	250 (250)
恵み野旭小学校	児童会活動、サケ飼育学習、基礎学力向上、総合学習、情報教育、スノースポーツ体験、環境整備、学校支援地域本部事業	301 (301)
恵庭中学校	吹奏楽部演奏活動・楽器購入、楽器整備、総合学習、生徒会活動充実、ゲストティーチャー、ＰＴＡ・町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業	1,349 (1,349)
恵北中学校	学校運営推進事業、生徒会活動推進、総合学習、特別支援教育・不登校対策支援事業、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	295 (295)
恵明中学校	総合学習、サケ稚魚飼育観察、生徒会活動充実、地域住民･保護者･生徒交流、吹奏楽部の充実、楽器整備、花壇整備の活動、学校支援地域本部事業	1,396 (1,396)
柏陽中学校	サケ稚魚飼育観察、自主的な生徒の活動支援、総合学習、学校花壇及びフラワーロード整備活動、学校支援地域本部事業	357 (357)
恵み野中学校	サケ稚魚飼育観察、生徒会活動、情報教育推進、校舎整備、総合学習、学校緑化推進・環境美化奉仕、学校支援地域本部事業	358 (358)
合　　計		6,119 (6,119)

●教育環境の整備促進

・認定こども園（１号認定こども）

（令和８年３月１日現在）

区　分	年齢別の入所児童数				
	満３歳	３歳	４歳	５歳	合　計
恵庭幼稚園	18 人	36 人	30 人	33 人	117 人
島松幼稚園	5 人	9 人	16 人	24 人	54 人
クラーク幼稚園	35 人	48 人	54 人	51 人	188 人
第二かしわ幼稚園	22 人	46 人	47 人	49 人	164 人
恵み野第二幼稚園	13 人	17 人	24 人	20 人	74 人
恵み野幼稚園	15 人	19 人	20 人	19 人	73 人
ひまわり幼稚園	10 人	23 人	28 人	39 人	100 人
さくら	1 人	7 人	1 人	7 人	16 人
えほんの森	0 人	3 人	5 人	6 人	14 人
幼稚舎えるむ	4 人	4 人	4 人	3 人	15 人
えにわスマイル保育園	2 人	3 人	3 人	8 人	16 人
かしわ幼稚園	16 人	27 人	29 人	35 人	107 人
あいおい子ども園	11 人	6 人	6 人	5 人	28 人
北海道文教大学附属幼稚園	6 人	10 人	2 人	8 人	26 人
合　計	158 人	258 人	269 人	307 人	992 人

・児童生徒の相談体制の充実（P.158）

青少年指導員：１６名

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、メンタルフレンド事業の普及やスクールソーシャルワーカーの配置をはじめ、相談体制の充実を図りました。

1)非行少年の状況

（単位：人）

区　分	R7 年度			R6 年度			比　較		
	不良行為	触法行為	計	不良行為	触法行為	計	不良行為	触法行為	計
小　学　生	58	18	76	10	2	12	48	16	64
中　学　生	52	20	72	34	7	41	18	13	31
高　校　生	1	6	7	6	3	9	△5	3	△2
有職無職青年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	111	44	155	50	12	62	61	32	93

2）ＷＥＢ相談受付件数（相談専用電話は廃止）

相談件数　　２４件（前年度比２０件増）

3)スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラーの配置（２名）

（単位：校、回）

	学校数	派遣回数
小学校	8	193
中学校	5	168
市民会館		38

市スクールカウンセラー派遣　２名　３，６５４時間

（道カウンセラーと兼任）

道スクールカウンセラー派遣　２名　　３４８時間

相談内容別相談件数　（単位：件）

相談内容	不登校	いじめ	暴力行為	児童虐待	友人関係	貧困の問題	非行・不良行為	家庭環境
相談件数	989(100)	32(0)	7(3)	0(0)	362(13)	5(0)	37(0)	377(5)

相談内容	教職員との関係	心身の健康・保健	学業・進路	発達障害等	その他	合計
相談件数	56(13)	324(18)	80(0)	56(2)	288(0)	2,613(154)

その他：スクールカウンセラーの授業見学・研修会講師・ケース会議・家庭訪問等

相談者別相談件数　（単位：件）

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合　計
相談件数	805(50)	483(60)	1,243(44)	82(0)	2,613(154)

※（）内は市民会館相談件数

４）不登校対策事業（校外教育支援センター）
・指導員の配置　　１１名（令和８年３月３１日時点）
・通室状況　　小学生９人、中学生４９人通室
・学校復帰　　完全復帰５人、部分復帰（不定期登校・別室登校）１４人

５）メンタルフレンド事業
ボランティア登録者数（北海道文教大学の学生）２３名
派遣実績：小学校・中学校合計　３件　…メンタルフレンド研修３回実施

６）なかよしさわやかＤＡＹ全市交流会
７月２３日に市民会館にて、市内の小中学校の代表者が一堂に会し、みんなでいじめについて考える「なかよしさわやかＤＡＹ」全市交流会を開催しました。
交流会では、テーマに基づきグループ協議・発表を行いました。中学生が司会者となり、小学生をリードしながら、様々な角度から「いじめ」について考え、活発な意見交換が行われました。

・特別支援教育の推進（P.158）

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

１）学校の支援体制
・校内支援委員会　　～　全小中学校１３校に設置
・特別支援教育コーディネーター　～　１３校に２５名を指名

２）巡回相談体制
・教育支援連携推進委員会　専門委員９名

３）特別支援教育支援員配置状況　（単位：校、人）

区　分	配置校	支援員数	勤務内容	対　象
小学校	8	24	週 29 時間勤務	特別な支援を必要としている児童生徒
中学校	5	11		

４）特別支援学級・特別支援学校就学の状況

区　分	特別支援学校	特別支援学級						
		知的	情緒	肢体	病弱	難聴	言語	計
新入学児童	5	9	12	0	1	0	0	22
在学児童生徒	0	19	31	1	0	0	0	51
計	5	28	43	1	1	0	0	73

５)特別支援学級在籍・通級指導教室の状況（令和７年５月１日現在）

区　　分	特別支援学級							言語通級教室	発達通級教室
	知的	情緒	肢体	病弱	難聴	言語	計		
小学校在学	66	104	4	4	0	0	178	43	154
中学校在学	33	43	2	2	0	0	80	－	10
計	99	147	6	6	0	0	258	43	164

・学力・体力向上推進事業（P.160）　　**１１，６２２千円**

・学力体力向上推進会議の設置
　委員：８名　開催回数：３回
・学力向上アドバイザーの設置　　会計年度任用職員１名
・標準学力検査（ＮＲＴ）の実施（小学校２～６年生、中学校全学年）
・英検ＩＢＡ・ＥＳＧ（英語力の測定）の実施
　英検ＩＢＡ　中学校全学年
　英検ＥＳＧ　小学校６年生
・地域人材の活用　　小学校外国語授業　　個人２名、１団体
　　体育授業等実技支援　１団体　小学校８校　６９回

・部活動指導員配置事業（P.160）

部活動指導員を導入することにより、教員の部活動に関わる時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間を確保することなど、教員の「働き方改革」を推進するとともに、生徒が競技に理解のある指導員から指導を受けることで、技術の向上・けがの未然防止・個々に応じた適切な練習法の導入など、部活動の質的な向上を図りました。

配置状況：恵庭中学校　女子卓球部１名（年２４０時間）
　　恵北中学校　野球部１名（年２４０時間）
　　恵明中学校　女子バトミントン部１名（年２４０時間）
　　恵明中学校　ソフトボール部１名（年５２時間）
　　恵み野中学校　男子バレーボール部１名（年２７７時間）

・小学校、中学校環境整備事業（P.166～167・169～170）

・恵庭小学校エレベーター新設事業　　５６，７３６千円
　エレベーターの設置工事

・恵庭小学校校舎防音機能復旧事業　　１０５，４８０千円
　老朽化したボイラー設備等の更新工事

・小学校冷房設備設置事業　　６８，０３２千円
　普通教室等に対する冷房設備の設置
　（島松小学校・柏小学校・松恵小学校）

・恵み野小学校給食用昇降機更新事業　　６，４１６千円
　老朽化した給食用昇降機の改修工事

・小学校ワイヤレスインターホン設置事業　　１，５６８千円
　ワイヤレスインターホンの設置

・恵明中学校講堂防音機能復旧事業　　４４，１６９千円
　老朽化したボイラー等の復旧改修工事

・恵庭中学校建具新設事業　５，６６５千円
防音建具の設置

・中学校冷房設備設置事業　４７，２３３千円
普通教室等に対する冷房設備の設置
（恵庭中学校・恵明中学校）

・中学校ワイヤレスインターホン設置事業　１，１１１千円
ワイヤレスインターホンの設置

・恵庭小学校冷房設置事業　７５，２０１千円
普通教室等に対する冷房設備の設置

・恵明中学校校舎・講堂トイレ改修事業　６１，０８３千円
校舎トイレ改修工事

・デジタルドリルの導入（P.160）　１０，７８１千円

市内小中学校１３校にＡＩ型デジタルドリル及び授業支援ソフトを導入しました。

・ＩＣＴ活用支援事業（P.157）　１６，８１４千円

教員・事務職員・支援人材ＩＣＴ研修、ＩＣＴ支援員の配置等を実施しました。

・高等学校等入学準備金支給事業（P.157）　４，８００千円

経済的な理由から高校等への修学に困難を有する生徒に対し、入学準備金を支給しました。
支給額　：５万円
支給者数：９６人（前年度９３人）

・学校における食農教育の推進（P.162）

栄養教諭による学校給食を活用した食育の推進を図ったほか、毎月家庭への「給食だより」「しょくいく」配布、給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と食育の啓蒙を実施しました。

１）小学校給食
・センター稼働日数　１９８日、実施学校　市内全校（８校）

＜実施状況＞　（単位：回、食）

学年	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	食数	718,965
実施回数	180～184	189～194	189～194	190～194	189～192	188～191		

２）中学校給食
・センター稼働日数　１９５日、実施学校　市内全校（５校）

＜実施状況＞　（単位：回、食）

学年	１年生	２年生	３年生	食数	370,136
実施回数	190～194	188～190	177～184		

３）その他
・給食だより・しょくいく発行：毎月発行４月～３月（１２か月）
・協会ホームページへの掲載　：毎月の給食献立及び食育情報
・市ホームページへの掲載　　：主要な食材の産地等情報

目標１７　手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携の強化、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

・市民会館耐震化等改修事業（P.179）　　９３７，８２０千円

市民会館大ホール側の耐震改修工事

・公民館活動等の充実（P.179）

（単位：講座、人）

講座等事業名	講座数	受講者数
市民講座	12	382
くらしに役立つ健康講座	2	26
外国語講座	3	38
公民館サークル	28(団体)	262
日曜趣味講座	3	46
親子ふれあい教室	3	44

（単位：講座、人）

講座等事業名	講座数	受講者数
パソコン教室	2	16
みんなで楽しむピアノコンサート	2	135
スマホの使い方教室	2	23
文化交流講座	1	22
スポーツ講座	2	48
ＡＩ・ドローン体験講座	1	11

・島松公民館まつり　　舞台８１８人、展示５２１人

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

・学校への貸出冊数　　８，１００冊

・学校間の貸出冊数　　２，２１３冊

・図書資料等の充実（P.180）

１）蔵書冊数の現況　　（単位：冊）

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	153,816	39,657	193,473	9,269	202,742
恵庭	28,414	15,088	43,502	650	44,152
島松	21,999	9,107	31,106	436	31,542
計	204,229	63,852	268,081	10,355	278,436

2）貸出状況　（単位：冊）

区分	利用者数	一般書	児童書※1	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	85,217	167,049	105,466	14,649	287,164	292	983.4
恵庭※2	31,536	70,040	47,436	2,591	120,067	349	344.0
島松	8,518	22,328	15,099	2,711	40,138	294	136.5
黄金	1,054	1,220	242	57	1,519	326	4.7
かしわ	829	963	342	15	1,320	326	4.0
北高	2	2	0	0	2	－	－
南高	14	39	0	0	39	－	－
文教附属	0	0	0	0	0	－	－
計	127,170	261,641	168,585	20,023	450,249	－	－

※1 絵本、紙芝居は児童書に含む　※2 恵庭は恵庭分館ロッカー貸出を含む

3）団体貸出状況

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	403	29	6,713
恵庭			979
島松			532
計			8,224

4）レファレンス(資料相談)状況

区分	件数
本館	4,281
恵庭	2,478
島松	2,598
計	9,357

5）予約リクエストサービスの状況　（単位：冊）

区分	所蔵資料の受付件数	未所蔵								計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	
本館	3,790	221	99	8	217	5	0	0	5	555
恵庭	1,583	144	24	1	88	0	0	1	2	260
島松	1,826	76	15	0	21	0	0	0	0	112
計	7,199	441	138	9	326	5	0	1	7	927

6）インターネット予約サービス
・受付件数：３３，２５４件

・長寿大学の推進

高齢社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいを見つけ社会活動に参加し、健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。

・学習日数　（年間）　　２０日
・学生在籍数（年度末）　１０７人

・えにわ学講座の推進

恵庭市を様々なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場として、えにわ学講座を開催しました。

開催日数：２回　　参加者数：４１人

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

リカレント公開講座大学名	講座数	受講者延人数
北海道文教大学公開講座（長寿大学指定分）	27	100

・家庭教育支援事業

子どもを持つ保護者が安心感と自信を持って家庭教育支援を行い、子どもと一緒に成長できるための学びを地域全体で支援しました。

事業名	延事業回数	延参加人数	内　　容
はぴナビカフェ	32	424	緩やかな学びの場を提供
えにわままっぷ	1	58	親子を対象に子育てに役立つ体験を提供

・女性教育振興事業

・女性団体活動者研修会
「くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋」　参加者数：３０人
・女性人材育成セミナー
「女性のためのマネーセミナー～上手なお金の育て方～」　参加者数：９人

・生涯学習施設かしわのもり（P.172）

・開館日数　３３５日　　利用人員　４１，０７９人
・利用内容　スポーツ練習場　４７．４％　子どもひろば　１５．１％
子育て支援　９．０％　その他　２８．５％

・夢創館の活用（P.172）

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	359 日	利用団体数	262 団体	利用人数	11,731 人	利用日数	236 日

指定管理者主催事業	手作り雑貨マーケットｉｎ夢創館	参加者 265 人
	冬の手作り雑貨マーケットｉｎ夢創館	参加者 410 人
	オーロラ上映会	参加者 50 人
連携等事業	百歳体操（２４回）	参加者 545 人

・郷土資料館の運営・事業（P.174～175）

・入館者数　７，２００人（前年度比　△８２人）

（学習会等開催状況）　　（単位：人、回）

区　　分	R7 年度	R6 年度	比　　較
学習会参加者数（回数）	856（33）	1,079（30）	△223（3）

・史跡カリンバ遺跡の管理・整備（P.176～177）　　１３，６５５千円

史跡カリンバ遺跡整備検討委員会を２回開催し、整備実施設計を行いました。また、史跡の保護、整備の啓発を目的とした花植えや草刈りなどの環境整備、講演会・講座、まつり、体験学習や特別展をボランティア団体などと共に実施しました。

・市内遺跡の発掘調査等（P.177）　　５０，８１４千円

・発掘調査

２件　ユカンボシＥ１２遺跡（１４２㎡）、ユカンボシＥ１１遺跡（７５㎡）

・試掘調査

８件　西島松地区等　調査面積１３０，０８４㎡

・金属製品保存処理

１点（腕輪）

・アイヌ政策推進交付金事業（P.176）　　１，２１６千円

・アイヌ文化マスター育成事業　参加者：５人

市内在住の小中学生を公募し、アイヌ文化等への理解を深めるため、アイヌ文化やアイヌ語の学習、平取町等での１泊２日の研修や白老町にある国立アイヌ民族博物館での弓矢体験など、全８回の講座や見学、体験等を行いました。

・アイヌ文化学習見学会事業　参加者：２６人

アイヌ文化やアイヌと和人との関りを深く学ぶため、白老町にある国立アイヌ民族博物館を見学しました。文化庁調査官に解説をしていただき、アイヌ文化やアイヌと和人との関わりを学びました。

・西島松５遺跡重要文化財の指定・保存（P.177～178）　　２６，９７３千円

指定を記念したシンポジウムを開催し、写真集やパンフレット、３Ｄモデリングを作成しました。また、重要文化財の金属製品保存のための保存箱の作製と土器や金属製品の公開を目的とした展示ケースの作製を行いました。

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

・芸術鑑賞機会の充実

文化協会と連携し、市民の舞台・作品等の発表機会を提供するため「えにわ市民文化祭」を実施しました。

・第７０回えにわ市民文化祭

展　示		舞　台		合　計		入場者数	
団体数	出品人数	団体数	出演人数	団体数	人数	展示	舞台
40	409	37	478	77	887	1,657	1,371

出品・出演・入場者合計　３，９１５人

・えにアートギャラリー　　展示場所：はなふる　　展示団体数：２団体

・文化団体の育成支援（P.171）

郷土芸能団体へ補助金を交付し、郷土芸能の保存と技能継承、更なる普及発展を図り郷土愛の育成と活力あるまちづくりに努めました。また、文化協会事業に対し補助金を交付したほか、文化活動奨励補助金により市民の文化活動を奨励しました。

・恵庭市文化協会補助金　　３４０千円
・郷土芸能団体への補助金（２団体）　　３４０千円
・文化活動奨励補助金（２団体）　　１７２千円
・文化事業派遣補助金（２団体）　　１９０千円

・えにわ芸術文化宅配事業（P.171）

・登録作品数　～　絵画３９点、書２４点、写真４８点、アート書道１１点、パッチワーク２５点
・展示箇所　　～　４１箇所（工場、金融機関、飲食店、事業所、幼稚園等）

・国際交流・多文化事業の促進（P.68）

恵庭市国際化の指針及び恵庭市国際化推進アクションプランに基づき、多様な交流を通した世界に開かれた地域づくりや、市民はもとより地域で暮らす外国人にとって住みよい多文化共生のまちづくりに取り組みました。

・海外姉妹都市ニュージーランド・ティマル市との交流

青少年国際交流受入事業（学生３名受入）では、随行者としてティマル市長が来恵し、歓迎レセプションを開催しました。また、ティマル市へ絵本を３冊寄贈しました。

・海外との国際交流

グアテマラ大使やウクライナ（ニジィン市長）や韓国ＧＬ研修、オピヒ高校（ニュージーランド）の来恵対応を行いました。

・地域日本語教室　日本語ひろば「えにわ」の開催

会話交流型の日本語教室として、ゲームや文化交流を通じて日本語の学習、顔見知りを増やし地域とのつながりをつくる活動に取り組みました。

開催回数：２４回、参加者：受講者延２２２人、学習支援ボランティア延２９６人

・やさしい日本語講座の開催（１回）

外国籍住民が利用する機会の多い郵便局と医療関係を対象として開催しました。

参加者：１２人（郵便局９人、医療関係３人）

・多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催（１回）

外国人と接点のある関係者（町内会、教育機関、企業、行政等）が一堂に会し、恵庭市における多文化共生の現状や市の多文化共生事業の取組についての報告、情報共有を行いました。

・多文化共生フォーラムの開催（１回）

日本人も外国人も同じ地域の一員として暮らすために多文化共生の理解を深め、今後の恵庭市における多文化共生の在り方を考えることを目的に基調講演及びパネルディスカッションを行いました。

参加者：４３人

・外国人相談窓口の開設

令和７年１０月より市役所本庁舎４階企画課内に「外国人相談窓口」を設置しました。

令和７年度相談件数：７５件（上半期４７件、下半期２８件）

・多言語通訳支援機能の導入

多言語通訳システム「ＫＯＴＯＢＡＬ」

活用件数：８６件（上半期４７件、下半期３９件）

市ホームページ「やさしい日本語」変換機能

活用件数：３７６件（上半期２４３件、下半期１３３件）

・恵庭市生活スタートブックの改訂

令和５年４月に作成した恵庭市に初めて来た外国人に対して生活ルール等の周知を行う「恵庭市生活スタートブック」を改訂しました。

・出前講座及び企業向け出張講座の開催

地域住民との情報共有とし、市の出前講座（１回)、町内会長向け研修を実施しました。

また、初めて恵庭市で暮らす外国人に対して、恵庭市やごみ出し等の生活ルール、日本の文化についての生活オリエンテーションを実施しました（２回)。

・令和７年度末外国籍人口　１，２６８人

	国籍	人数
1	ネパール	308
2	ベトナム	274
3	フィリピン	167
4	中国	123
5	インドネシア	107
	その他	289

	在留資格	人数
1	留学	286
2	特定技能１号	231
3	技能実習２号	222
4	技術・人文知識・国際業務	135
5	技能実習１号	126
	その他	268

基本目標Ⅴ　地域資源・都市基盤を活かすまち

目標１８　地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安全安心に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

駅周辺への都市機能の集積やバリアフリー化を目指すとともに、安心とにぎわいのあるまちづくりを進めました。

・島松駅周辺再整備事業（P.144）　　４００千円

島松西通（都市計画道路）の道道昇格に伴う受渡し及び自由通路改修・東西口駐輪場等の整備に向け都市構造再編集中支援事業（島松周辺地区）の事業採択を進めました。

・島松複合施設整備事業（P.70）　　４５１，０３３千円

令和９年３月の供用開始に向けて、既設の駐車場の解体工事、建設する施設の実施設計を完了し、令和７年１０月から建設工事に着手しました。

・バリアフリー特定事業（P.141）　　３６，５０９千円

バリアフリー特定事業計画に基づき、恵庭駅周辺地区のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

恵庭大通　Ｌ＝１６６．０３ｍ

●新市街地の拡大検討

・新市街地検討事業（P.69）　　１５，３３７千円

・本市を取り巻く周辺状況等の変化に対応するための新市街地拡大検討に伴い、区域マスタープランの原案を作成し、立地適正化計画を策定しました。

・新市街地に関連する都市開発、交通管理、道路計画、環境保護などにおける意思決定に際し、その裏付けとなる道路交通量の経年調査を実施しました。

・新市街地整備事業（P.70）　　４８，２６８千円

・都市計画道路や市街地整備について検討案を具現化するために、整備前の現状調査から将来の整備を見据えた調査設計など各種整備手法の検討を実施し、関係機関との協議を推進しました。

●西島松・南島松地区用地取得の推進

・西島松・南島松地区用地取得事業（P.264）　　９１，６６７千円

・西島松地区及び南島松地区の新市街地整備にあたり、開発予定区域内の用地を取得するため、地権者に対して協議会や個別説明を複数回実施し、合意形成を図りました。

目標１９　水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内３駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール（P.159）

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

・表彰作品展示期間　１０月１４日～１０月２４日

・市長賞１名、教育長賞１名、審査員特別賞１名、優秀賞７名、佳作１０名

・水と緑のまちづくり推進事業（P.136・147）

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

・記念樹贈呈事業	新築・誕生・結婚記念　イチイ８本、ブルーベリー２２１本、ハスカップ６７本、ヤマボウシ４７本
・市民植樹公園･緑地帯	ドウダンツツジ３３本、サツキ５本、アナベル２０本、桜６本植樹
・花壇植栽事業	グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・２駅（恵庭駅、恵み野駅）ロータリー
・緑の少年団支援事業	松恵小学校全児童が学校農園、花壇作り、クリーン活動を実施し、緑の募金活動を行いました。

・街路樹剪定・適正管理事業（P.145）　２５，０７９千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的な剪定と間引き伐採を進めることで快適な道路環境の維持に努めました。

・街路樹更新事業（P.141）　９，８１２千円

街路樹の再生指針に基づき、特定樹種の更新を行いました。

・街路樹残根処理　５２箇所、新規樹木植栽　４２本

・植樹桝・植樹帯管理助成事業（P.141）　２，８７５千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹桝・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かでうるおいのある街づくりを推進しました。

・実施団体：４０団体

・街区公園美化活動助成金　（P.145）　１，８４９千円

・実施町内会　１５町内会　２４公園

・公園施設長寿命化改修事業（P.145）　１０５，４２４千円

・公園遊具改修　２２公園３１施設

・外柵更新　２公園

・バックネット改修

・園名板の更新　３公園

・**恵み野中央公園改修事業（P.146）　　４１，２００千円**

・ワークショップ３回を含む測量調査、公園改修実施設計

・**公園照明灯更新事業（P.145）　　２８，９８５千円**

・公園照明灯柱更新（対象公園１４公園の公園灯灯柱３４基、引込柱 ６基）

・**街区公園再整備事業（P.146）　　８０，１４４千円**

・街区公園改修設計　２公園　（めぐみ公園、もいざり公園）
・街区公園再整備　　２公園　（どんぐり公園、チビッコ公園）

・**地域課題対応事業（公園施設）（P.147）　　１７，６７４千円**

市民から寄せられた公園施設や街路樹に関する意見・要望に対して、緊急性や利用者数などを勘案し、計画的に課題解決を進めました。

・**河川愛護会補助金（P.143）　　１４３千円**

恵庭河川愛護会に補助金を交付し、河川清掃などの河川愛護活動を支援しました。

・**自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信（P.65）　　１，５１０千円**

自転車に関する関心を高め、自転車の利用促進と、恵庭を知って、見て、感じてもらい、「農業」「観光」「商業」等、関連産業との連携、地域観光・経済の活性化を図ることを目的とした自転車イベント「サイクルフェスタ・恵庭２０２５」を、市内チェックポイントを自由に走行する方式で開催しました。事後アンケート結果では、「満足～やや満足」の回答者が９４．９％と満足度の高いイベントとなりました。

・サイクルフェスタ恵庭２０２５：９月１３日～９月２８日　　参加申込数：１６６人

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

・**恵浄殿改修事業（P.116）　　６１，６１７千円**

恵浄殿改修計画に基づく主な改修

・受変電設備改修
・火葬炉改修

火葬炉操作盤・動力制御盤更新（１号炉）、耐火ベッド交換（３号炉）、誘引送風機・燃焼送風機更新（４号炉）

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設設置により生じる障害を防止し、周辺地域における生活環境の向上を図りました。

・**防音（防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 3 条第 2 項）**

・**民生安定施設整備（防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 8 条）**

（単位：千円）

事　業　名	種別	事業費	補助金	その他
恵庭小学校校舎防音機能復旧事業	防音	105,480	83,056	22,424
小学校冷房設備設置事業	防音	68,032	50,318	17,714
恵庭小学校冷房設備設置事業	防音	75,201	67,635	7,566
恵明中学校講堂防音機能復旧事業	防音	44,169	36,883	7,286
中学校冷房設備設置事業	防音	47,233	38,114	9,119
市民会館耐震化等改修事業	防音	937,820	383,591	554,229
合　計		1,277,935	659,597	618,338

※事業費は補助対象額以外の関連事務経費等を含む。

・国有提供施設等所在市町村助成交付金（P.20）

区　分	交付額(千円)
R7 年度	256,340
R6 年度	242,901
前年比	13,439

・特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 9 条)（P.20）

区　分	交付額(千円)
R7 年度	393,461
R6 年度	392,689
前年比	772

・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進　（単位：千円）

事　業　名	事業費	調整交付金	その他
子ども医療費助成事業(基金造成)	3,200	3,200	0
子ども医療費助成事業（第６期恵庭市総合計画）（基金造成）	111,567	111,567	0
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	9,500	9,500	0
恵浄殿改修事業	61,617	44,471	17,146
道路整備事業	116,052	109,213	6,839
公園照明灯改修事業	28,985	26,690	2,295
街区公園再整備事業	80,144	74,246	5,898
消防団資器材整備事業	1,502	1,371	131
島松公民館集会室備品整備事業	11,473	10,541	932
小学校ワイヤレスインターホン設置事業	1,568	1,557	11
中学校ワイヤレスインターホン設置事業	1,111	1,105	6
合　計	426,719	393,461	33,258

※事業費には調整交付金対象額以外の関連事務経費等を含む。

・訓練交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 9 条)（P.20）

（単位：千円）

事　業　名	事業費	訓練交付金	その他
恵み野小学校給食用昇降機更新事業	6,416	5,830	586
合　計	6,416	5,830	586

※事業費には訓練交付金対象額以外の関連事務経費等を含む。

目標２０　安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況（P.140）

区　　分	延　長　(km)						出動日数(日)	
	車道 (直営)	車道 (委託)	車道計	歩道 (直営)	歩道 (委託)	歩道計	直営	委託
R7 年度末	154.5	386.6	541.1	12.6	179.3	191.9	25	11
R6 年度末	154.5	385.7	540.2	39.2	155.0	194.2	25	10
比　　較	0.0	0.9	0.9	△26.6	24.3	△2.3	0	1

・除雪車更新事業　　**４２，３２８千円**

小型ロータリー除雪車１台更新。

※備荒資金を活用して購入。償還額の発生が令和８年度からとなるため、令和７年度の予算執行はなし。

・高齢者除雪サービス事業（目標９に別掲）

高齢者世帯など除排雪作業が困難な方へ、地域のボランティアなどによる支援を行いました。

●身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築）

第３次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第２次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。なお、市営駐車場・駐輪場については、令和６年７月より指定管理者による管理・運営を開始しました。

・地域公共交通システムの構築（P.61）　　**２００，１４０千円**

運転免許証返納者を対象に、エコバス・エコタク共通回数券を交付し、利用促進を図りました。

・地域公共交通活性化協議会：４回開催

・えにわコミュニティバス運行状況

路　線	便　数 (　)は土･日･祝日	乗車人数 (人)	１日平均 (平日) 乗車人数(人)	運賃・回数券・定期券 ・広告収入(円)
Ａ・Ｂコース	R7.4 月～8 月 50 便（27 便） R7.9 月～ 47 便（26 便）	391,376	1312.5	65,303,165
Ｃ・Ｄコース	24 便（22 便）	20,479	110.5	3,303,771

・乗合タクシー運行状況

便　数	乗車人数（人）	１日平均乗車人数（人）	運賃・回数券収入（円）
7 便	8,340	28.7	1,904,100

・市民駐車場・駐輪場の管理（P.61）

・有料駐車場状況　（単位:台）

駐車場名	面積(㎡)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	41,928
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	124	32,380
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	25,986
恵み野跨線橋高架下東	3,977	H21.1.1	76	19,874
恵み野跨線橋高架下西	3,305	H21.1.1	73	16,420
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	36,798
黄金相生跨線橋高架下東	645	R7.12.1	24	96

・駐輪場状況　（単位:台）

駐輪場名		収容台数	駐輪場名		収容台数
恵庭駅	東口(札幌側)	371	恵み野駅	東口	743
	東口(千歳側)	433		西口	226
	西口高架下	382	島松駅	東口（仮設）	280
	西口屋内	550		西口	24
サッポロビール庭園駅		35			

●橋梁耐震化など安全な道路網の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備や橋梁耐震化による安全な道路網の確保の他、生活道路の道路改良や維持修繕、歩道の修繕により、沿道の環境整備を進めました。

・道路・街路整備事業

１）生活道路整備事業（調整交付金事業）（P.142）　１１６，０５２千円

３路線、改良舗装工事　Ｌ＝３９３．２０ｍ
７路線、測量調査設計　Ｌ＝５０１．００ｍ

２）生活道路整備事業（地方道路等整備事業）（P.142）　５８，０４３千円

３路線、改良舗装工事　Ｌ＝２３９．８９ｍ
２路線、測量調査設計　Ｌ＝１２４．８０ｍ

３）基線通周辺道路整備事業（P.142）　１３，８２７千円

１路線、舗装工事　Ａ＝４１５．２１㎡

４）南 18 ルルマップ川橋整備事業（P.143）　２，９３５千円

１路線、附帯工事（仮道・調査・補償）

・市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
R7 年度末	535,868	402,717	75.2
R6 年度末	535,645	401,790	75.0
比　較	223	927	0.2
増加率(%)	0.04	0.23	0.27

・**道路補修事業（P.141）**　　**１３８，８７３千円**

簡易舗装修繕

恵み野地区、柏陽・中島地区　車道オーバーレイ　　Ａ＝２，３７６㎡

歩道舗装補修　　Ａ＝３，８８５㎡

道路施設補修工事　排水構造物撤去　縁石設置　　Ｌ＝　　１６３ｍ

恵庭駅・恵み野駅エレベーター・エスカレーター改修

・**橋梁長寿命化事業（P.141）**　　**３１６，６００千円**

橋梁補修工事２橋　　（２８８，９２４千円）

橋梁点検３２橋　　（２７，６７６千円）

・**幹線道路舗装補修事業（P.142）**　　**１１４，４００千円**

１路線、改良舗装工事　　Ｌ＝１，０１１．００ｍ

●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持

・**生活環境改善要望対策事業（道路施設）（P.141）**　　**４３，５６０千円**

市民から寄せられた道路や除草といった身近な問題に対して、道路補修事業等の他事業と連携しながら、多様化するニーズや緊急性・損傷度などを勘案し、計画的に地域の課題解決を進めました。

目標２１　安定した水供給と持続的な下水処理

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

令和７年度も恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略、恵庭市下水道ビジョン・経営戦略に基づき、効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道事業の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

・配水管等整備事業（P.314～315）　　**４４９，６４４千円**

（※事務費除く）

１）耐震化・老朽化対策　　３４０，８９０千円
・配水管布設替　φ５０～φ１５０　Ｌ＝４，５０２ｍ

２）配水管新規整備　　８，６９０千円
・配水管布設　φ５０　　Ｌ＝　９５ｍ

３）メーター整備　　１００，０６４千円
・検満メーター取替　　５，８６７個

・下水道管渠整備事業（P.370）　　**４８７，２０７千円**

（※事務費除く）

１）分流化　　３６９，４４６千円
・汚水管布設　φ２００　Ｌ＝2，１３８ｍ

２）老朽化対策　　１２，４６８千円
・雨水管布設替え　φ６００　Ｌ＝４８ｍ
・マンホールポンプ所　ポンプ交換工事　１箇所

３）耐震化　　７８，５７４千円
・管渠更生　φ８５０、φ１４１０　Ｌ＝１３５ｍ

４）浸水対策　　２１，８９０千円
・樋門ゲート改造　２基

５）汚水整備　　４，８２９千円
・汚水管布設　φ１５０　Ｌ＝２７ｍ

・公共下水道　整備及び水洗化状況

区　　分	令和７年度末	令和６年度末	比　較
事業計画区域（ha）	1,887.1	1,887.1	0.0
整備済区域（ha）	1,874.6	1,874.6	0.0
整備率（%）	99.3	99.3	0.0
処理区域内人口（普及人口）（人）	68,436	68,588	△152.0
水洗化人口（人）	68,339	68,484	△145.0
水洗化率（%）	99.9	99.8	0.1
水洗化戸数（戸）	22,127	22,040	87.0

・下水終末処理場整備事業（P.371）　５０２，１７０千円

（※事務費除く）

１）老朽化対策　４５８，４２０千円

・改築工事委託に関する協定（汚泥脱水施設、汚泥制御施設等）

・設備等更新工事（汚泥処理等脱臭ファン、No１．２スカム移送ポンプ　取替）

２）耐震化　４３，７５０千円

・耐震化実施設計(最初沈殿池４，５系、放流ポンプ棟等)

・個別排水処理施設整備事業（P.371）　２，８３３千円

・新設　１基（７人槽　１基）

●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、効率的な資源・エネルギー循環の取組み

・官民連携バイオガス発電事業（P.345）

下水終末処理場では、地域バイオマスとしてし尿・浄化槽汚泥及び生ごみを受入れ、下水汚泥と混合処理することで発生するバイオガスを利用した発電事業を行っています。

市は民間発電事業者（水 ing エンジニアリング㈱）にバイオガスを売却、民間発電事業者はバイオガスを利用して発電し、売電しています。

・バイオガス売却量　１，５５４ 千Nm^3

・バイオガス売却益　６３，７３４ 千円

・バイオガス発電量　２，９６９ 千kwh

目標２２　住み続けたくなるまちづくり　住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕・改修工事の実施や建替事業・用途廃止事業の推進を図るため、他の市営住宅への移転や市営住宅解体工事等を進めました。

・市営住宅維持修繕（P.148～149）　　３４，４３４千円

日々の維持修繕業務を委託することにより、市営住宅管理業務の効率化を図りました。

・新規入居者に係る修繕（P.148）　　１２，３９３千円

新規入居者募集に係る空家修繕を２７室実施。

・市営住宅長寿命化改修事業（P.149）　　７８，２４３千円

旭団地１～３号棟給水設備切替工事実施設計
旭団地１～４号棟ガス管改修工事
桜町団地１～３号棟給水設備切替工事

・柏陽団地解体事業（P.149）　　１８，３８１千円

柏陽団地一般区域解体工事実施設計

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業（P.149）　　７，８０１千円

建替事業へ向けて、柏陽団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。
・移転件数　３９戸　　・移転先修繕　１室

・寿第二・第三団地用途廃止事業（P.149）　　４，５４１千円

用途廃止へ向けて、寿第二・第三団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。
・移転件数　２５戸　　・移転先修繕　１室

・若草団地用途廃止事業（P.149）　　３，４０９千円

用途廃止へ向けて、若草団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。
・移転件数　１８戸　　・移転先修繕　１室

・学生入居事業（P.149）　　２，９４１千円

市営住宅旭団地５階への入居募集を実施。
・入居件数　３戸　　・移転先修繕　２室

・令和７年度末市営住宅管理戸数　（単位：戸）

名称	建築年度	戸　数	形　　式
柏陽団地	S48～S52	200	2DK, 3DK
恵央団地	H15～R7	302	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H 元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第１団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第２団地	S41～S42	38	2DK
寿第３団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,155	

・柏陽地区複合施設整備事業（P.70）　７７，０４０千円

令和１０年度の供用開始に向けて、施設整備・管理運営業務の事業者を選定するとともに、周辺のインフラ整備設計に着手しました。

・柏陽団地跡地民間事業ゾーン整備事業費（P.70）　１，５７３千円

令和９年度の用地売却及び宅地整備に向けて、周辺用地の確定測量と関連敷地を購入しました。

・恵央団地民間活力建設事業費（P.149）　１，１６５，６４６千円

令和５年度より着手している恵央団地の建設工事が完了し、維持管理・運営を行いました。

目標２３　ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理量及び発生量

・ごみ処理量　　**（単位：t）**

施設	種類	R7 年度	R6 年度	比較
生ごみ処理施設	家庭系一般廃棄物	1,671.43	1,752.53	△81.10
	事業系一般廃棄物	1,174.53	1,177.49	△2.96
	小計	2,845.96	2,930.02	△84.06
リサイクルセンター	家庭系一般廃棄物	1,988.32	2,071.05	△82.73
	事業系一般廃棄物	29.74	20.12	9.62
	小計	2,018.06	2,091.17	△73.11
焼却施設	家庭系一般廃棄物	7,753.79	7,770.13	△16.34
	事業系一般廃棄物	2,113.22	2,095.59	17.63
	産業廃棄物	1,425.68	1,442.34	△16.66
	その他	604.31	640.09	△35.78
	小計	11,897.00	11,948.15	△51.15
ごみ処理場	家庭系一般廃棄物	945.89	921.51	24.38
	事業系一般廃棄物	1,835.72	1,986.85	△151.13
	産業廃棄物	1,706.49	1,702.11	4.38
	小計	4,488.10	4,610.47	△122.37
処理量合計		21,249.12	21,579.81	△330.69
ごみ処理場	鉄等搬出	81.59	96.86	△15.27

・ごみ発生量

項目			単位	R7 年度	R6 年度	比較
処理対象人口			人	69,945	70,125	△180.00
処理対象世帯			世帯	36,507	36,138	369.00
家庭系一般廃棄物	収集	可燃	t	7,438.32	7,532.28	△93.96
		生ごみ	t	1,732.90	1,785.25	△52.35
		不燃	t	384.28	403.46	△19.18
		粗大ごみ	t	345.25	336.46	8.79
		資源	t	2,014.41	2,080.55	△66.14
	小計		t	11,915.16	12,138.00	△222.84
	直接搬入	可燃	t	17.23	0.00	17.23
		不燃	t	412.47	362.85	49.62
		資源	t	14.57	14.37	0.20
	小計		t	444.27	377.22	67.05
	合計		t	12,359.43	12,515.22	△155.79
事業系一般廃棄物	可燃		t	1,630.77	1,597.86	32.91
	生ごみ		t	1,200.25	1,197.22	3.03
	不燃		t	71.70	173.81	△102.11
	資源		t	29.74	20.12	9.62
	合計		t	2,932.46	2,989.01	△56.55
集団資源回収			t	1,306.24	1,410.57	△104.33
一般廃棄物総排出量			t	16,598.13	16,914.80	△316.67
１人１日当たりのごみ排出量			g	650.14	660.85	△10.71
リサイクル率			%	34.40	35.30	△0.90
産業廃棄物	可燃		t	1,425.68	1,442.34	△16.66
	不燃		t	1,483.49	1,452.32	31.17
	合計		t	2,909.17	2,894.66	14.51
発生量合計			t	18,201.06	18,398.89	△197.83

●食品ロス削減の推進

・「ガーデンシティえにわＦＯＯＤＢＡＧ」の作製・配布

作製個数　：６００個
配布店舗数：１３店舗
取組時期　：１０月～１月
使用個数　：３３５個（使用率６３．２％）
本事業による生ごみの削減量（推計）：７２．４９ｋｇ

●最終処分場の整備（P.123）　　**２４，２００千円**

現在供用中の第６期最終処分場が令和１４年までに埋立終了となる見込みであることから、廃棄物の安定処理を継続するため、次期最終処分場の整備に向け、基本計画・測量を実施しました。

（内訳）

・基本計画委託業務：１６，５００千円
・測量委託業務　　：　７，７００千円

目標２４　次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについて、調査研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

・ボランティア袋の配布　　草木類専用　　３３，８４０枚
　　ポイ捨てごみ用　　１５，０３７枚
・環境美化等推進員登録件数　６０町内会　　７８名
・集合住宅ごみ等優良保管場所累計認定件数　　５１件

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：２４６日間（通年：２人体制）

・不法投棄の未然防止及び投棄者特定

不法投棄多発エリアに監視カメラを設置

●地域に応じた自然環境の保護と管理（P.115）　　６，１７５千円

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

また、近年市街地へのクマ出没が近隣市町村を含む全道規模・広域で発生しており、個体数も増加している可能性が高いことから、防除従事者を確保し、体制を継続するため、技術継承及び研修の機会を確保しました。

・水質汚濁調査

・定期河川水質調査：市内７河川１０ヵ所（年６回）
・ゴルフ場農薬検査：市内３ゴルフ場（年１回）

・自動車騒音常時監視委託

騒音測定：道道島松千歳線（島松本町４丁目１）、道道恵庭停車場線（栄恵町・相生町）
面的評価：道道島松千歳線、道道恵庭停車場線　調査区間　計５．７km

・臭気物質測定調査

・臭気物質濃度及び臭気指数測定：４ヶ所

・ひぐま防除委託

恵庭市内に出没するひぐまによる人畜の危害及び農作物等の被害防止対策を目的に実施しました。

・春季クマ捕獲研修委託

獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、及び北海道ひぐま管理計画、ひぐま春季管理捕獲実施要領等に基づき、人里出没抑制等のための春季管理捕獲、及び捕獲事業者に対し、安全管理及び法令遵守に必要な知識・技術の習得を図るための研修会を行いました。

●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発（P.116）　　５，８１５千円

・市内企業向け脱炭素セミナー開催

脱炭素への積極的な取り組みが国際機関から認められ、「ＳＢＴ認証」を取得した企業を講師として市内の企業向けにセミナーを開催しました。

・開催日　８月２６日
・題目：「脱炭素経営の第一歩 当社が中小企業向けＳＢＴ認証を取得するまで」
・当日の参加者：事前申込者（団体）及び事務局、計５６名

・温室効果ガス排出量可視化事業

（産業部門）参加協力事業者：３８社（うち製造業３３社）
（家庭部門）家庭のエネルギー使用量データ入力を行うことで、ＣＯ２排出量を算出するシステムの構築、利用促進のためのインセンティブ制度を設計しました。

・環境審議会の開催（２回）、産学金官作業部会（２回）

「恵庭市の環境」令和６年度版、産学金官作業部会の役割・審議内容、ゼロカーボン・ロードマップへの取組・経過報告、市民向けインセンティブシステム制度設計・運用計画、市内事業者温室効果ガス排出量見える化事業のデータ活用について協議を実施しました。

・市域への普及啓発事業

市域への普及啓発のため、地球温暖化対策、省エネ、脱炭素行動喚起に資する情報発信、ＳＮＳ及びラジオ広告、「えにわ環境・エネルギー展」の開催等を実施しました。

・市広報誌・生活情報誌・ＳＮＳ（Ｉｎｓｔａｇｒａｍ）広告での情報発信
・ラジオ広告による啓発
（５月１日～１１月３０日　７か月、２４０本）
・えにわ環境・エネルギー展の開催
開催日：９月７日　会場：花の拠点（はなふる）　来場者数：３，５０６人